

不動嶋海水浴場がある。海水浴旅館 三國屋、柏屋。
 【温海温泉】(三圖た4) 驛の東南二軒半、自動車の便あり、硫黄性食鹽泉で、腺病、皮膚病、婦人病、リウマチス、胃腸病などに効くと云ふ。古來温海七色と稱し、天候によつて温泉の色が變化する奇現象がある。秋季は紅葉が美しく、冬季はスキーが行はれる。大清水、熊野神社、紅葉岡、湯見ヶ瀧などの名所がある。旅館 橋屋、温海ホテル、鶴屋、壽屋、柏屋、萬國屋、外十七軒。

温海を出て二つのトンネルを過ぎ暮坪の立岩(直立一五〇米)を望み、線路に近き鹽俵石を見る、共に玄武岩で柱狀節理が現はれて居る。この他にも附近の岩には同質のものが多し。五十川三哩七を過ぎ、八個のトンネルを経て三瀬四哩六に至る。その間に留棹庵島を望み波渡崎を見、金谷の小港を過ぎ海岸を離れ、東に向ひ笠取のトンネル(延長七三軒)を過ぎ東北に轉じ、莊内平野に入り、羽前水澤三哩五を通過し東に折れて羽前

である。

驛の北方一軒の街路に石敢當と刻した石がある、これは驅邪禳魔のために建てるもので沖繩縣や九州の南部で屢々見るが、東北地方でその存在を見るは異とすべきものである。

【相尾神社】(縣社) 驛の北約二軒半、大山町の北端に近い宮山と云ふ丘陵の上であり、自動車の便がある。鎌倉時代の地頭武藤氏を始め以後領主の崇敬を受けた神社である。参道には慶長十六年藤原實秀寄進の銘ある石の鳥居が立つて居る。

【善寶寺】(曹洞宗)(二圖た4) 驛の北約三軒半、自動車の便がある。山腹から山麓へかけて多くの堂塔伽藍を有する大寺院である。五重塔を始め建造物の多くは明治年間の造營である。寺の後方にある池は龍王の池と稱し、旱魃の際雨を祈り或は大漁、航海の安全などを祈る。これがため、遠近より参詣する者毎年十萬以上に達すると云ふ。

【湯野濱温泉】(三圖さ4) 驛の西北約七軒、自動車の便

大山二哩八に着く。

【由良】 三瀬驛の東北三軒半、白山島の半島が突出して港を擁しその海岸には海水浴場があり、自動車の便がある。旅館 麻生館、たくみ屋。

【八幡神社】(郷社)(二圖た4) 水澤驛の東一軒半、水澤部落東方の丘陵にある。創建の年代は明かでないが、今の本殿は室町時代に領主武藤氏の造立したものと傳へ、莊内藩主酒井氏入國以來累代の崇敬が篤かつたのである。社殿は三間社、流造茅葺、木割織細優雅の趣があり、優秀なる繪様彫刻を存し隨所に室町時代の特徴を發揮して居る。同時代の遺構として奥羽諸神社の建築中唯一のもので指定特別保護建造物である。

羽前大山驛 (一圖た4) 山形縣西田川郡大山町

温海から 二三軒五一四哩六
 ▽乗合自動車 善寶寺行 湯野濱行

【大山町】 莊内平野の西南部に位し、西北に高館山の丘陵を負ひ大山川に沿ひ、釀酒業が盛んで、米の取引も多い。驛の西北一軒餘にある太平山公園は花の名所あり、鹽類泉で胃腸病、婦人病などに効くと云ふ。日本海に面し、古來奥羽の三樂郷の一として唄はれし處として知られ、海岸は海水浴に適して居る。旅館龜屋、ゑびす屋、宮島屋、富士屋、岩本屋、外九軒。

羽前大山から直路東進、左窓に映る出羽富士の稱ある鳥海山の美しき火山圓錐を望みつゝ鶴岡三哩八に着く。

鶴岡附近

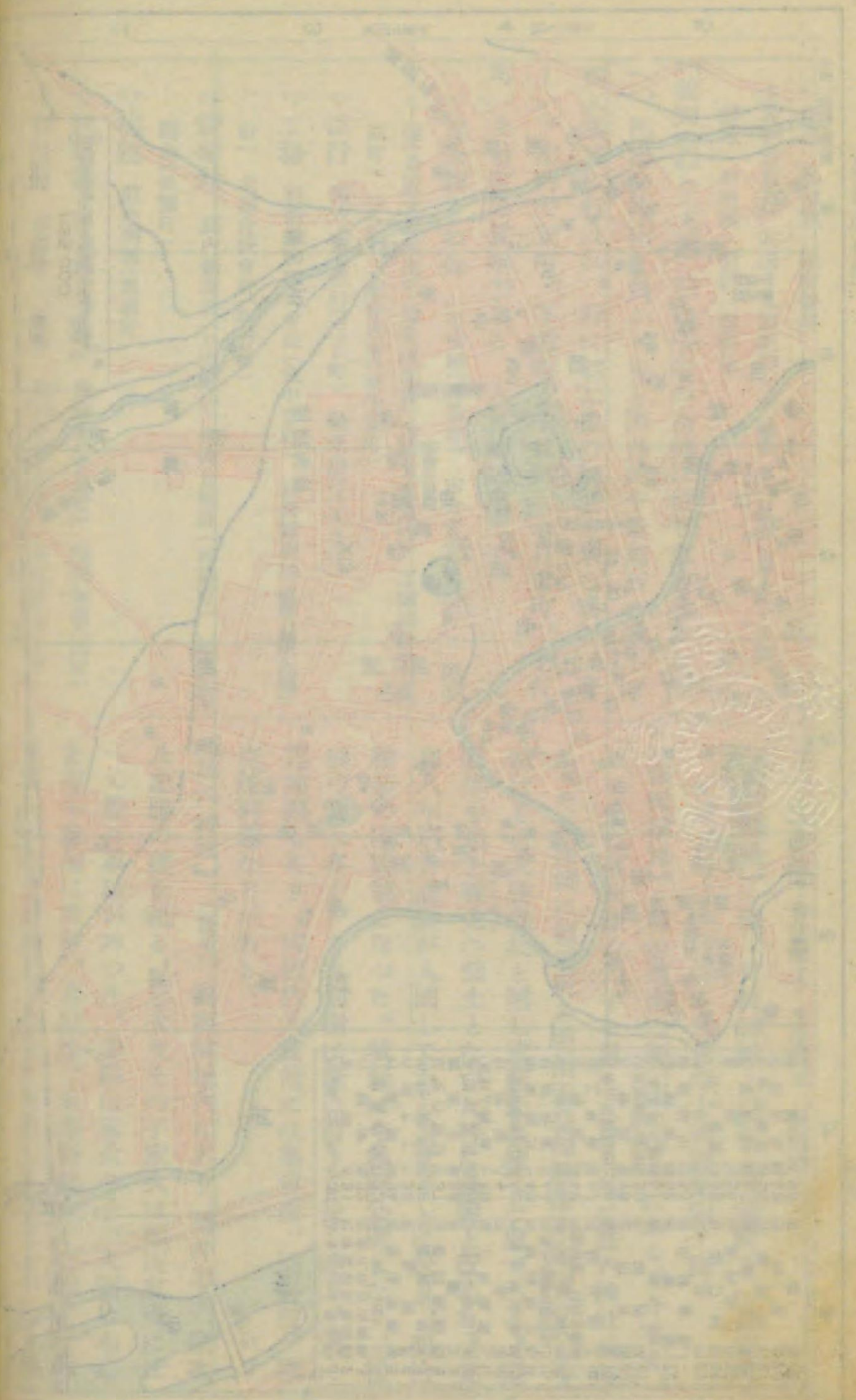
鶴岡驛 (一圖た4) 山形縣鶴岡市

新津から 一三九軒五一八六哩七

秋田から 一三三哩三三八二哩二

▽乗合自動車 市内行 手向行 狩川行 湯田川行 酒田行
 ▽旅館 伊勢屋本店(七日町) 鶴岡ホテル(二日市町)
 一日平均

乗車人員 一、八〇〇人 降車人員 一、七七八人
 發送貨物噸數 三噸 到着貨物噸數 一、七四噸
 主要發送貨物 米 清酒 活鮮魚 藪 馬 木材類 人造肥料 鹽



とし深く崇敬して居た。明治八年舊莊内藩の有志相計つて城址に社殿を造營して忠勝を祀り、忠次、家次の靈をも合祀して莊内神社を創建するに至つた。

【酒井氏累代墓】 驛の西南二軒半、大督寺の南隣にある。もと大督寺境内にあつたが、後墓域を寺から分離せしめて同家直接の管理としたのである。

【舊致道館址】 驛の西南二軒餘、朝陽第一小學校の敷地となり、今舊表門のところに西御門を移して保存せるを始めとして、講堂竝に大居間の建物殆ど舊規の儘に保存されて居る。文化二年の創建にかゝり、もと日枝神社の北隣に在つたが、同十三年今の地に移し、爾來明治維新に至るまで藩士子弟の教育をした藩費である。大居間は明治戊辰の役に藩主が官軍の參謀黒田清隆を迎へて開城を誓約したところである。

【日枝神社】 「縣社」 驛の南約一軒、市内荒町にある。元和八年に酒井氏入國の後には産土神うぶすまと定めて厚く信仰したもので、今の社殿は元祿十三年の再建造である。

【鈴木今右衛門墓】 驛の南一軒半、市内鳥居町正覺寺

境内にある。今右衛門は天明三年津輕南部地方の饑饉に際し妻及娘と協力し家産を傾けて救済に盡瘁した人である。

【常念寺】 「淨土宗」 驛の南二軒、市内南町にある。大永年中の草創にかゝり、もと天翁寺と稱したが、慶長年中最上義光が入國するに及んで常念寺と改稱し菩提寺とした。境内の西南隅に明治戊辰の役に歿した官軍戦死者の墓があり、長州、肥前、秋田などの諸藩士三十六名が合葬されて居る。

【本住寺】 「日蓮宗」 驛の南二軒半、市内七日町にあり、境内に加藤忠廣及びその母正應院の墳墓がある。忠廣は事に坐して肥後國を没收せられ、酒井家お預りとなり、承應二年こゝで歿したのである。寺に忠廣及父清正の遺物を藏して居る。

寶物

- 一 青銅製日蓮上人小像
- 一 木造三重小塔 高約二米(七九尺) 初層及第二層は方形で第三層は屋根八角形をなす 江戸時代の優秀な作である

【新山温泉】(三圖さ4) 鶴岡から西南六軒自動車の便あり。硫黄泉で、リウマチス、皮膚病、痔疾などに効くと云ふ。旅館 石川屋、自炊制を主とする。

【湯田川温泉】(三圖さ4) 驛の西南八軒半、自動車の便あり。鹽類泉で、神経諸病、眼病、婦人病、リウマチスなどに効くと云ふ。旅館 靈泉閣、神泉閣、鷺見屋司屋、外十數軒。

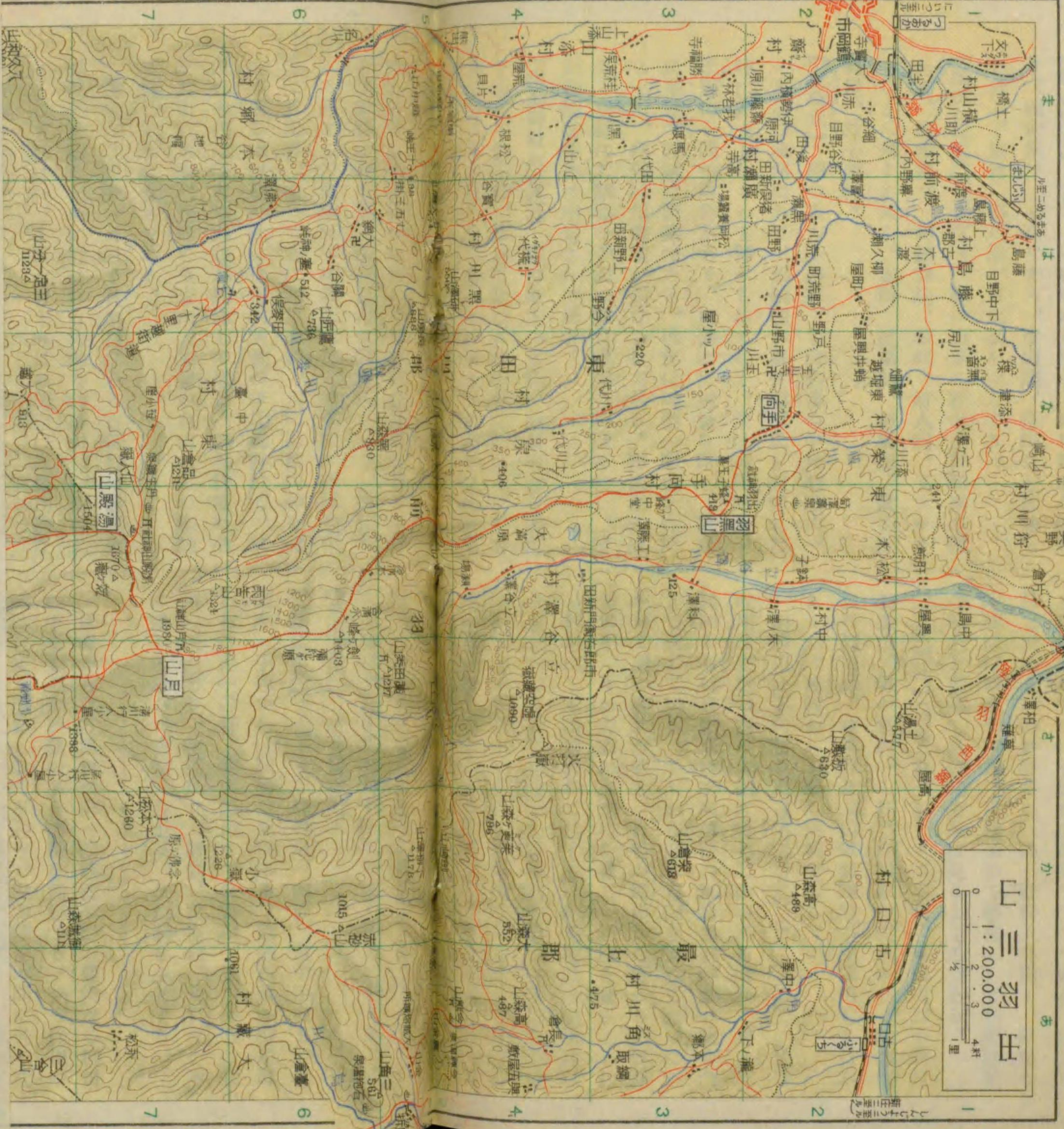
【黄金堂】 驛の東方一四軒、手向部落の中央羽黒山一ノ鳥居の北側にあり、源頼朝が奥州藤原氏を討伐した時に建立したものと傳へられて居る。堂は五間四面、正面に一間の向拜があり、周囲には廻椽を附し、竇形造茅葺で軒廻は簡素である。内部は周圍一間廻を外陣として、内陣に須彌壇が設けられて居る。構造様式は全く唐様にて細部の手法に鎌倉時代の特徵を存し、特別保護建造物に指定されて居る。

【出羽神社五重塔】 驛の東方一六軒、出羽神社の樓門を過ぎて約半軒、參道東側の古杉の中にある、この塔は慶長五年最上氏の建立にかゝり、元祿年中に修覆

を経たもので今特別保護建造物となつて居る。方三間柿葺である。各層軒先の反強く輕快に突出し、軒廻の枘組には繪様彫刻なく手法極めて簡明にして和様建築の特色を發揮し奥羽地方稀に見るところである。

【出羽神社】(國幣小社)(二圖た4、二六圖) 東田川郡手向村羽黒山、驛の東約一七軒。自動車の便がある。陸羽西線の清川驛、狩川驛及三山電氣鐵道の間澤からも行かれるが、鶴岡からが最も便利である。

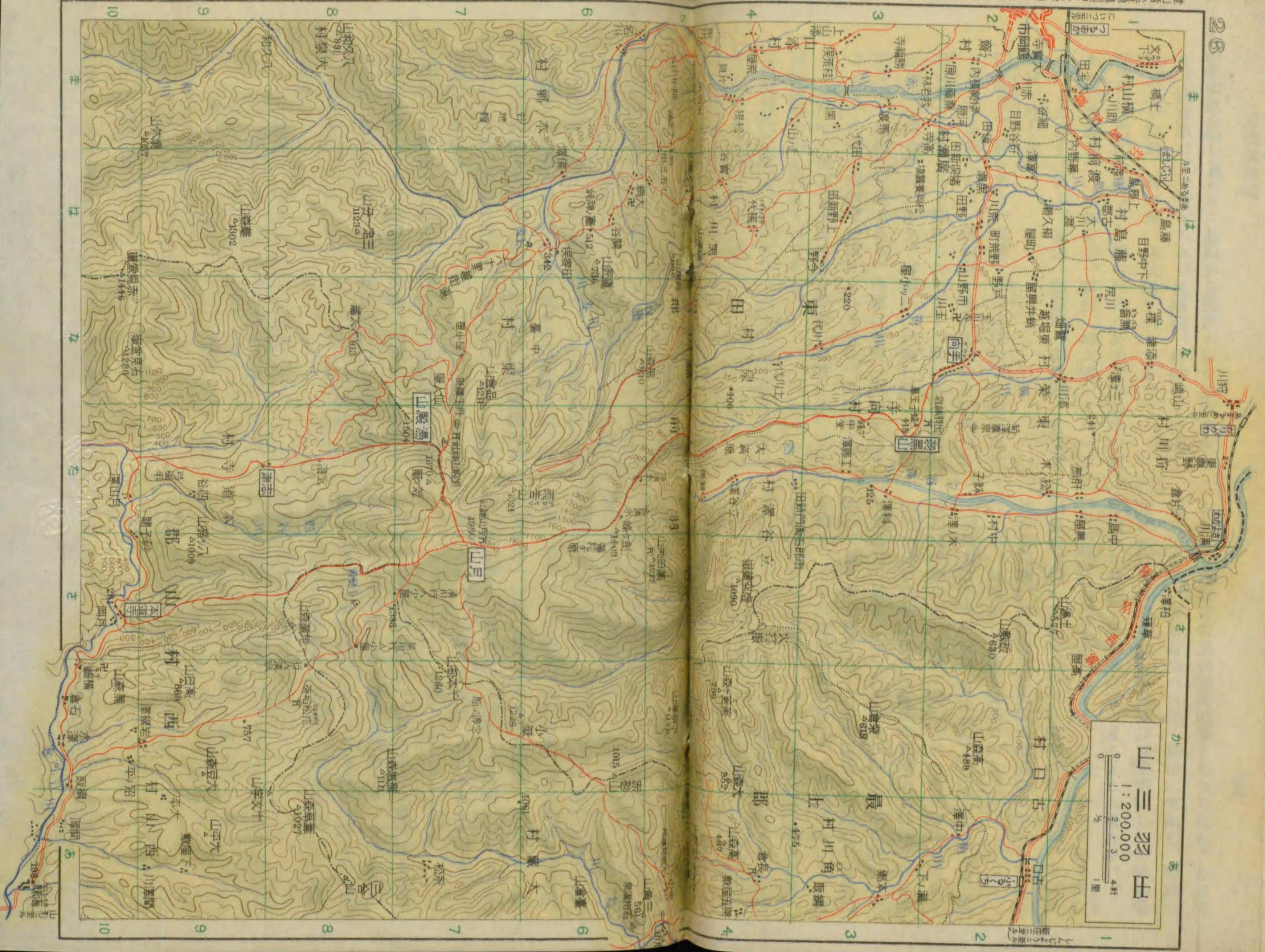
羽黒山は手向村の東、月山表坂の北に連る峯である。祓川は表坂の西の大瀧に發して山の西を流れて居る。鶴岡からの自動車は手向部落の東端出羽神社の隨身門まで通じて居る。こゝから直に石段を下つて祓川にかかつて居る橋を渡ると、右手の斷崖から落つる須賀瀧を仰ぎ、また左方に五重塔を見て、石段を登ること約一軒半にして出羽神社に達する。出羽神社は羽黒神社とも云ひ、古來月山神社、湯殿山神社と併稱して出羽三山と云つて居る。月山、湯殿山は高嶺にして夏期の外は雪が深く登ることが困難であるから、月山神、湯



登山者公普通圖市又村川弓手向羽山山至冷清水ヲ過月山ニ連入ノリ湯山

新津秋田間

1121



登山者八音通鶴岡市又八折川ヨリ南向ヲ經テ羽黒山ニ至リ冷流水ヲ過シ月山ニ達スルノヨリ標高山頂ニ至リ



殿山神を出羽神社へ合祀して三神社合祭殿と稱して居る。本殿は莊内藩主酒井忠器たかかたの造營にかゝり、文化八年に起工して文政元年に竣工した大建築で、内陣の中央に月山神、向つて右に羽黒山神、左に湯殿山神を祀つて居る。出羽神社は延喜式所載の伊弉波神社で、三山の奉仕には古來修験が關係して居た。羽黒修験の名は大和の大峯、豊前の英彦山、加賀の白山などの修験に對して殊に有名である。

當社の祭禮中一月三十日には行はれる古例祭は農産物の豊饒を祈るために行はれる特殊の神事で、今尙古式によつて行はれ、また七月十五日の例祭には黒川能などが催される。

寶物

- 一 青銅燈籠竿 [國寶] 高約一米二(三尺七寸)
俱利伽羅龍の模様と文和元年七月二十五日の銘文がある。
- 一 鐵製擬寶珠 高約四二種(一尺四寸) 二個
境内の祇川に架つて居る橋に用ゐられた擬寶珠で、上杉景勝の臣直江兼續寄進の銘文がある。
- 一 金銅製狛犬 一對 高約三〇種(一尺)

新津秋田間

慶長十八年三月最上義光月山神社寄進の銘文がある。
寶物は夏期本殿に陳列して一般の觀覽に供する。

【月山登山】 一三頁參照。

【箭澤温泉】 (三圖か4) 驛の東一四軒、途中手向まで自動車、手向からは駄馬の便がある。陸羽西線の狩川驛からは南一〇軒、途中添川まで自動車、添川からは駄馬の便がある。硫黄泉で、創傷、胃腸病、リウマチスに効くと云ふ。旅館 滋生屋、自炊制を主とする。

鶴岡から北方酒田に向へば莊内平野の肥沃なる稻田の中を走り米の發送多き諸驛を通過する。先づ赤川の鐵橋を渡り藤島六軒六を過ぎ、左方砂丘の間に近年開鑿せる赤川の放水路を望み、余目あまるめ八軒七五哩四を過ぐ。こゝは陸羽西線の分岐點である。

更に整理された耕地の間を北進し、最上川の鐵橋(延長八三米)を渡り、砂越さごし三哩六を経て西北に折れ、次第に近づく鳥海山を右に見て酒田六軒四四哩に着く。

酒田驛 (一圖た4) 山形縣飽海郡酒田町

新津秋田間

鶴岡から 二七籽五一七哩一
 秋田から 一〇四籽七一六五哩一
 新庄から 五五籽二一三四哩三

▽乗合自動車 町内

▽旅館 酒田ホテル 中川屋 村上屋 三浦屋

一日平均

乗車人員 一、八六八人 降車人員 一、八六八人

發送貨物噸數 三噸 到着貨物噸數 三三噸

主要發送貨物 米 鹽乾魚 活鮮魚 馬 鹽 木材類 石材 炭製品
 品 肥料類 大豆粕

主要到着貨物 米 活鮮魚 木材類 鹽乾魚 砂糖類 鐵及鋼製品
 類 石材 木材 人造肥料 セメント類

【酒田町】(二七圖) 最上川の河口北岸に位する港市で、古來商業地として著はれ、江戸時代には最上川に沿へる地方の物資集散地となり、各地から産出する米は最上川、赤川によつて悉くこゝに積み下し、一旦倉庫に收め、帆船の入港する毎にこれを積込んで大阪及江戸に廻送し、奥羽屈指の要港となりて繁榮を極め、日本の商權を一手に握るの觀があつた。しかるに明治以

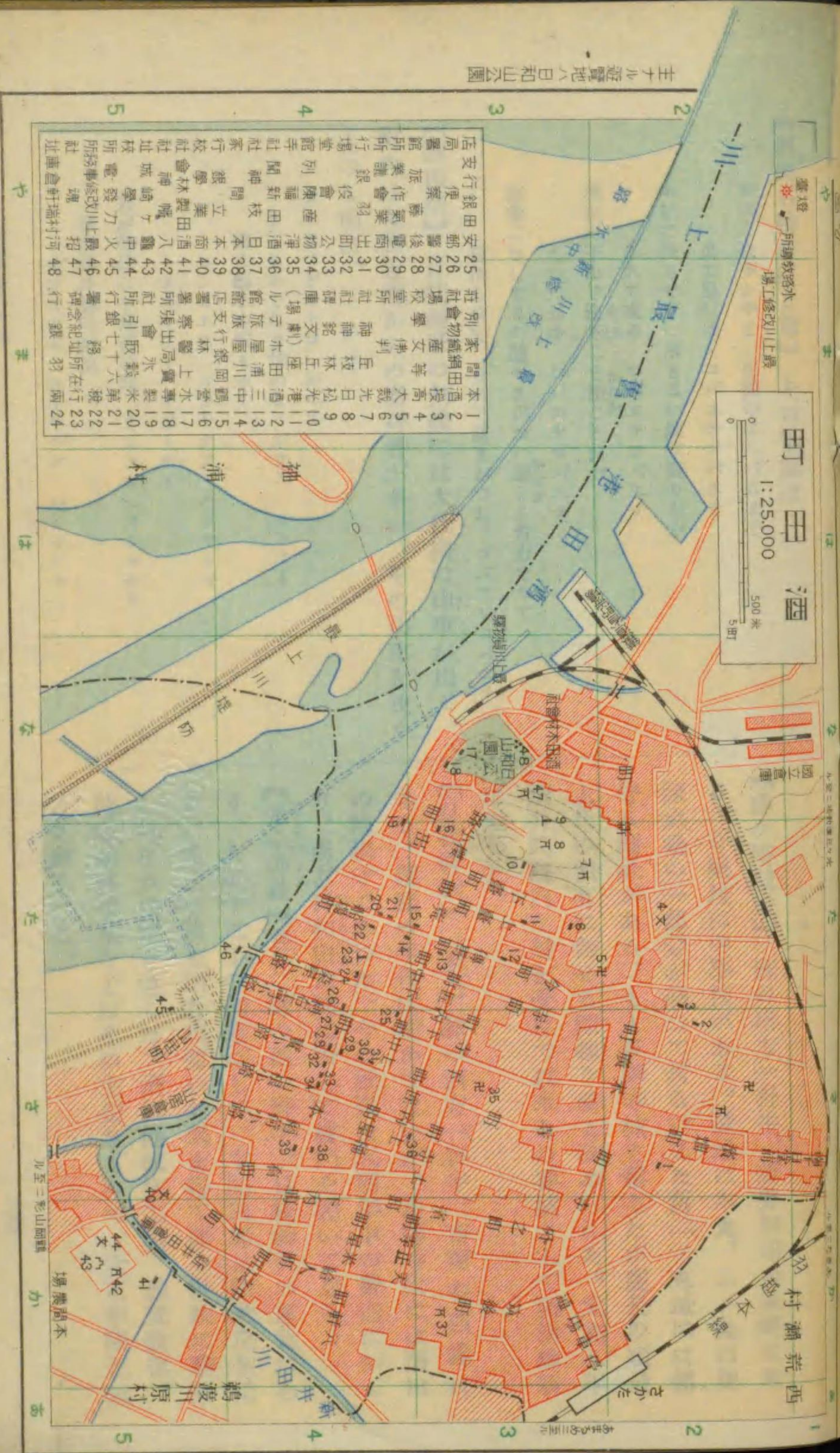
降大型汽船の發達するに及んで、港内水淺く、その碇泊に適しないため、市況やゝ衰へたが、陸羽西線、羽越本線などの鐵道が開通して陸上運輸の便が開け、加ふるに古來蓄積せる絶大の富力が依然として米の集散地たる面目を持續し、在來の米穀倉庫の外に農林省の大倉庫も營まれ、加ふるに築港の事業も進捗して居るので、水陸相待つて今後一段の隆昌を見るべき前途を有して居る。人口約一萬八千。本町、秋田町、傳馬町、上中町、下中町が繁華な處である。

▽官公廳その他 町役場(本町三丁目) 商業會議所(本町四丁目) 物産陳列館(本町三丁目) 光丘文庫(下臺町) 農林省農業倉庫(新町) 山居倉庫(山居) 本間家倉庫(新井田河畔) 最上川改修事務所(鶴渡川原村)

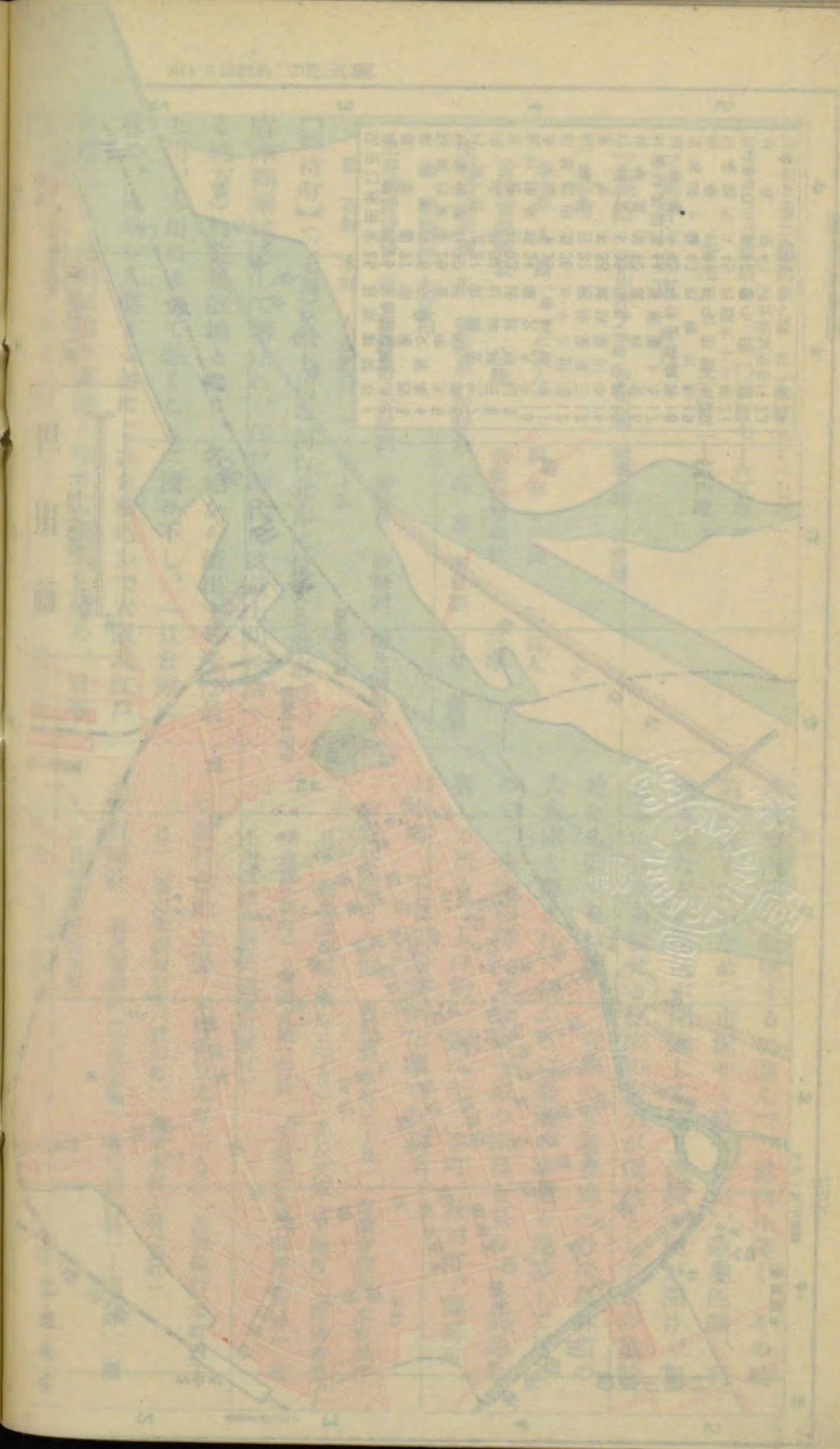
▽銀行會社工場 本間銀行(本町一丁目) 出羽銀行(本町四丁目) 酒田米穀取引所(秋田町) 酒田木材工場(新町)

▽新聞社 酒田新聞社(上内近町) 日刊莊内社(上内近町) 酒

田日報社(中袋小路)
 △名産 吳竹(羊羹)



1	本道	酒田	24
2	酒田	酒田	25
3	酒田	酒田	26
4	酒田	酒田	27
5	酒田	酒田	28
6	酒田	酒田	29
7	酒田	酒田	30
8	酒田	酒田	31
9	酒田	酒田	32
10	酒田	酒田	33
11	酒田	酒田	34
12	酒田	酒田	35
13	酒田	酒田	36
14	酒田	酒田	37
15	酒田	酒田	38
16	酒田	酒田	39
17	酒田	酒田	40
18	酒田	酒田	41
19	酒田	酒田	42
20	酒田	酒田	43
21	酒田	酒田	44
22	酒田	酒田	45
23	酒田	酒田	46
24	酒田	酒田	47
25	酒田	酒田	48



【酒田名物おぼこ節】 その歌詞は

おほこ来るかやこ 田圃のはんづれまで

出て見たは コバエテコバエテ

おほこ来もせで 用もない煙草賣りなご

ふれて来る コバエテコバエテ

酒田山王山で海老こえびこかじか鰻こかじか角力

こつたれば コバエテコバエテ

海老こなしてまた腰やまがつたかじかこ角力こつて

投げられて それで腰まがつた コバエテコバエテ

【酒田祭】 日枝神社の祭禮には大仕掛の山車だしが出て、

町内は勿論近郷からの参拜者が多い。その山車を曳くものゝ唄は、

ドオトコドオトコ ホエエ

さてもめでたき世のこごぶぎよ ヨンヨイ

鶴こ龜この祝も永く

ヨンヨエエ ヨンヤナア ハリヤリヤ

コリヤリヤ ヤットセイ

君が御代こそ萬代の池 ヨンヨエ ヨンヤナア

春は櫻の龍門が池

ヨンヨエエ ヨンヤナア ハリヤリヤ

新津秋田間

コリヤリヤ ヤットセイ

【龜ヶ崎城址】 驛の南方一軒半、新井田川の東畔にあ

る。今城址に中學校がある。城址は本丸、二ノ丸の周濠土壘の一部分が残つて居る。また舊二ノ丸址には鎮守八幡社がある。もと東禪寺城と稱したが慶長の頃最上氏の領有に歸せる際龜ヶ崎と改められた。元和八年酒井氏莊内に封を受けて以來その番城として明治維新に至つた。

【日枝神社】 「縣社」驛の西方一軒半、市街の西端に

ある。創祀の年代は明かでないが、舊藩時代には酒田の總鎮守であつた。今の社殿は天明年中の營造にかゝり、南方日和山公園に面して樓門を開いて居る。

【光丘神社】「郷社」驛の西一軒半、日枝神社の東北にあ

り、大正十三年の創建にして、本間四郎三郎光丘を祀る。光丘は藩主酒井忠徳の知遇を得て藩の財政に參與し大なる功績を遺した。酒田港改修工事、農政改善、防砂殖林事業などはその主要なもので、大正年間五位を贈られた。

【松林銘碑】 日枝神社西側の小丘の上に建つて居る。この碑は本間氏が酒田西濱一帯の地に植林の事業を完成し、これによつて酒田の地が永久に風砂の災害を免れたことを感謝するため、文化十三年に建てられたものである。

【日和山公園】 驛の西方二軒、町の西部砂丘の上にある。松樹が多い。西は日本海、南は最上川を望み、展望がよい。

【河村瑞軒倉庫址】 日和山から續いて最上川河岸に臨んだ舊稱陣屋と呼ばれる二畝米四方の空地がそれである。今「河村瑞軒倉庫址」の標木が建てられて居る。寛文十二年、瑞賢が幕府の命を受けて酒田から直接海路によつて江戸へ米の廻送を試みた際、最上、置賜、村山などの収納米を積み上げて貯藏した場所で、御米置場或は瑞賢藏と呼ばれて居た。これより先江戸に於ける米の需要が多くなり米の不足を告げたので、瑞賢に命じて奥羽の米を直接江戸に廻送することを計畫せしめた。即ち瑞賢は寛文六年陸奥の米を仙臺領荒濱か

産米の改良を圖り、近年鐵道の開通に伴ひ販路が擴張して來た。最近一年の保管高は三十五萬石に及ぶ。

【飛鳥】 酒田から西北三八軒の海上に位し、その間發動機船が毎日二往復し四時間で達せられる。飛鳥本島とその西方にある烏帽子群島及御積島が主なるものである。飛鳥本島は周圍一〇軒、大部分凝灰岩または凝灰質頁岩から成り、烏帽子群島は玄武岩の柱狀節理がよく發達した海蝕による洞門が存する。御積島は圓筒狀の石英粗面岩が屹立すること七七米、うみねこの棲息地である。島岸處々に柱狀節理が現はれ、北岸には陸上に海蝕による大洞窟がある。その中に遠賀美神社を祀る。この洞窟は入口の高さ一二米で奥行は五五米に及び、洞奥に甌穴があり水を湛へ、その底に圓石が存して居る。この甌穴が俱利伽羅不動尊の御手洗と稱し島民が崇敬する。洞奥には鱗紋狀の燐灰土が壁面を被ひ夕陽に照らされて輝き、御手洗の清水に映ずる、その状恰も白龍の鱗のやうである。天井からは水が滴り美音を發する。こゝは神域として女人を禁制して居

ら江戸へ廻送を試み、次いで酒田廻米に着手して共に功を收めた。瑞賢の廻米改善事業は從來の一ヶ年餘の歳月を費した西廻り廻送を三ヶ月に短縮し、米の損傷を減じ運賃を低下せしめ、一般經濟上に大なる効果をもたらした。その後の酒田廻米は瑞賢の方法に倣つて莊内藩主並に御料代官がこれを掌つて居た。

【山居倉庫】 驛の西南一軒半、山居にある酒田米穀取引所の附屬倉庫で、一に米券倉庫とも稱し、その米券法は全國の模範となつて居る。起源は元和八年にある。藩主酒井氏が入國して、その貢納米につき近江の大津で行はれる米券制度を採用して、酒田城外新井田川沿岸に新井田藏を設け貢納米を納入せしめ米札を發行したのに始まる。後享保年間大阪の堂島、加賀の金澤と共にこゝに米會所設置を許され、米の取引愈々發達し、米券は紙幣同様に流通し、米問屋は隨時新井田藏に至り現米と引替へ多くは大阪方面へ移出した。明治二十六年酒田米穀取引所が創設せられ、舊米券法による米穀の保管を繼承し、定期の賣買、米受渡の圓滑、地方

る。この燐灰土は島上のうみねこの排泄物が自然に分解して岩石の裂目に侵入し、遂に洞窟に達し沈澱してその岩壁を被うたものである。

酒田を出て東北に向ひ、左に砂丘の松林を望み、整理された耕地の間を進み、本楯^{もとたて}六軒^{ろくせん}を過ぎ、荒瀬川を渡る。これより北に轉じ鳥海山に近づく。右窓仰ぎ見れば山頂には享和元年の噴火で出來た新山^{しんざん}が圓頂を現はし、その右に近く外輪山の七高山、行者岳が見え、それより左の斜面には美しい傾斜を示しやゝ下つて笹ヶ岳が見え、更に下つて中腹に觀音森の寄生火山が眺められ、それよりは緩かな裾を曳いて海に及び、鳥海山はこのあたりで極めて雄大に見られる。やがてその登山者の下車驛の一をなす遊佐^{ゆざ}三哩^{さんり}六を過ぎ、高瀬川を渡り莊内平野を見送りて鳥海登山口の一なる吹浦^{ふくら}四哩^{しり}三に着く。

【大物忌神社】 蕨^{わらび}岡口ノ宮^{がしかが}〔國幣中社〕(二八圖) 驛の東南約五軒半、蕨岡村杉澤にある。社務所のある處は山の

中腹で、四百餘階の石段によつて達せられる。社務所の前から更に三百餘階の石段を登ると、明治二十九年に再建された拜殿がある。こゝから望まれる鳥海山の山頂には大物忌神社の本社があり、大物忌神が祀られて居る。延喜年間既に國幣を受け、古來出羽國一ノ宮として廣く崇敬され、今も多くの參拜者がある。登山は七月上旬から九月中旬まで、その他の時期は寒氣と雪のために登攀が困難である。よつて古來口ノ宮を蕨岡と吹浦ふくらに設け、祭祀はすべて口ノ宮で執行されて居る。宮司は蕨岡と吹浦に隔年勤務をなし、また例祭も交互に兩口ノ宮で行はれ、蕨岡口ノ宮では五月三日に執行される。尙一月七日には種蒔神事、四月三日には御弓神事などの特殊神事が行はれる。山腹の蕨岡部落には多くの宿坊があつて登山者に便宜を與へて居たが、今は組合組織の共榮社を設立して登山者を宿泊せしめ、各種の便宜を與へて居る。多くの者は未明に出發して日歸りをするが、山上に一泊することも出来る。山頂の本社では蕨岡口ノ宮及吹浦口ノ宮から主

典、傭人、賄方が詰め切つて參拜人に便宜を與へて居る。

寶物中には曆應五年七月二十二日の銘のある青銅製鐔口わにぐちと鎌倉時代の青銅製鐔口と鎌倉時代の青銅製蝶鳥模様の和鏡がある。

吹浦驛 (一圖た3) 山形縣飽海郡吹浦村

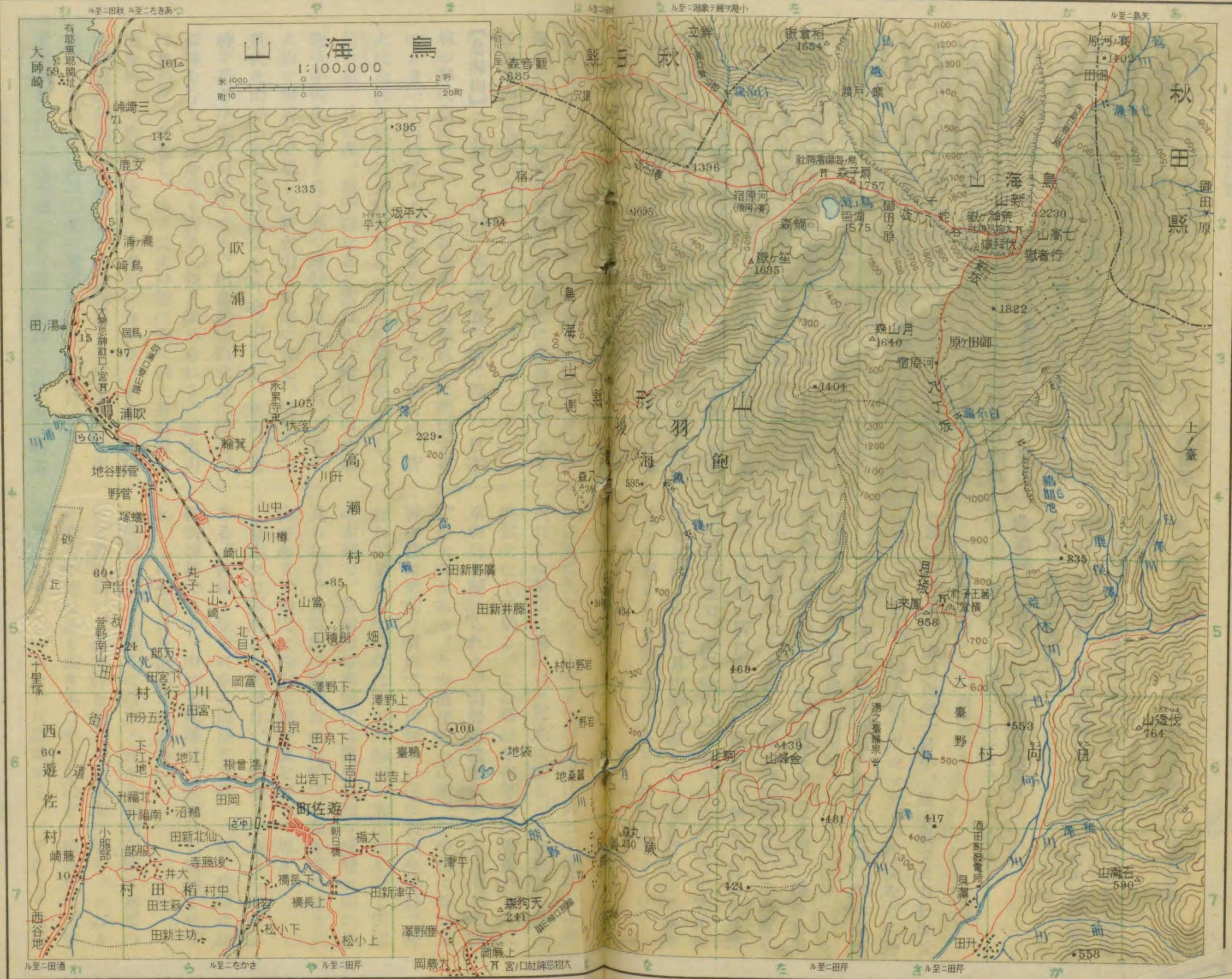
酒田から 一九軒一―一哩九

▽旅館 吹浦ホテル 鳥海ホテル

【湯ノ田鑛泉】 驛の西北一軒半、炭酸泉で火力を加へて居る。胃腸病、婦人病、リウマチス、痔疾などに効くと云ふ。日本海に臨み附近の西濱、釜磯は海水浴が出来る。旅館 能登屋、酒田屋。

【大物忌神社吹浦口ノ宮】 (國幣中社) (二八圖) 驛の北半軒、鳥居を入つて石段を登ると拜殿があり、その直ぐ後の一段高い所に社殿が二座並んで居る。何れも茅葺一間社流造で、江戸時代の建築である。向つて右には大物忌神、左には月山神が祀られて居る。よつて兩所宮とも稱する。鳥海山頂の本宮を參拜するもののため

主ナル登山路ニハ山形縣側ニ吹浦口・秋田縣側ニ小瀧口・天島口ガアル



凡至二田酒 凡至二たかさ 凡至二田岸 岡蔵大 凡至二田岸 凡至二田岸 凡至二田岸

に報徳社を設立して便宜を計つて居る。當口ノ宮では隔年五月八日に例祭を行ふ。寶物には北畠顯信の正平十三年の寄進狀がある。

【鳥海山】(二八圖) 山形、秋田兩縣の境に跨り、日本の岸に裾野を曳く。山容秀麗、形狀富士に酷似するにより一に出羽富士と稱せらる。山上には舊火山、新火山及稻倉嶽の三火山が聳え、舊火山は西部に位し、新笹ヶ岳、月山森、扇子森などを連ねる外輪山の中に鍋森の中央火口丘と鳥ノ海の爆裂火口を有して、二重式火山を形成して居る。新火山は東部に位し、同じく二重式火山で七高山、行者岳を外輪山とし、新山、荒神ヶ岳を中央火口丘とする。稻倉嶽は西北部に位し、孤峰をなし、成生最も古きものと認められる。舊火山はカルデラをなし、水ノ又火口瀨は笹ヶ岳と月山森の間を破つて西南に流れ、月光川に合する。中央火口丘の鍋森は鈍圓錐形を呈し、全山熔岩より成り、鳥ノ海は圓形を呈し、約五〇米の直径を有し、排水口がなく、所謂眠湖をなし地下流により南に流出して居る。新火

山は更に大なるカルデラで、北方に向つて開け、中央火口丘の新山は海拔三、三〇米に達し、東北地方の最高地點をなして居る。この峰は享和年間の噴出で、一に享和岳と稱せられる。山勢急峻削るが如く、山上に圓形の火口がある。その直径約三〇米、その西に峙つ荒神ヶ岳は史前の噴出で、山體の一部は新山の熔岩で掩はれて居る。七高山はその外輪山の東南部をなす弧狀の山列で、急峻なる内側には噴出岩類の成層が明かに見られる。鳥海山の西斜面には猿穴及觀音森の寄生火山があり、猿穴は西方に熔岩流を流して居る。

登山には蕨岡口、吹浦口、小瀧口、矢島口の四つがある。何れも登山口から山頂までは一六料、登路は比較的容易である。中にも吹浦口、蕨岡口が便利とせられ、この登山口を選ぶものが多い。

吹浦口により登るには口ノ宮から畑地を経て鳥居のある處に出で、雑木林を過ぎて木落坂に至る。これより處々平坦な道を通り木ノ芽澤を過ぎ小坂を登れば休小屋があり、このあたりは眺望がよい。それより堅根



鳥海山

森の戊辰役陣地の碑を過ぎ神子石に至るこゝから先はもと女人禁制であつた。大平に登れば展望が廣く、左に小澤の流がある。それより葛石坂の急坂を登れば右に笙ヶ岳が見える。川原宿に至れば祓戸神社がある、小瀧口の登山道はこゝで合する。これより長嶺を登れば鳥ノ海御濱神社に達する。こゝは鳥海遙拜所である南方に鳥ノ海が見下され、右に鍋森が仰

がれる。こゝに北の方稻倉岳に至る岐路があり、それによつて北進すると蟻ノ戸渡を下り、更に登つて稻倉神社に達する。鳥ノ海御濱神社から東南に向ひ八町坂を下り御田ヶ原を経て焼石峠を下り千蛇谷に入り、それより新山の南麓にある大物忌神社に達する。更に南に向ひ鐵梯子により外輪山の内壁を攀ぢ行者岳に登れば展望が廣い。

矢鳥口登山道は變化が多いので登山客に喜ばれる。横莊鐵道西線前郷驛から南方矢鳥までは約一四軒、自動車の方がある。矢鳥から西南へ幾つか丘を越えて登つて行くと約三軒で一合目の籠立場に達する。そこからは鳥海の秀麗な山容が遠く望まれる。平坦な草原を四軒ばかり行くと二合目の木境神社と笹小屋がある。この邊から急にぶなや檜などの大森林地帯に入り、道は次第に登りとなつて、三合目、四合目を過ぎ被川に達する。こゝには小屋場があつて七八月には宿泊も出来る。頂上へは約四軒半。これよりやゝ急な登りとなつて御田の雪田が千古の雪を残して居る。八合目の七

釜瀧を見て次第に急坂となり、九合目水ノ薬師附近からはやゝ岩場となつて七高山の山頂に達する。こゝは鋭い外輪山の最高點で、西方には中央火口丘の新山が直立し、その南麓に國幣中社大物忌神社がある。

山頂からは、東に栗駒山、東北に駒ヶ岳、北に太平山が眺められ、南は近く月山を望み、また東南は遠く山形盆地を隔て、藏王山を見、西南に莊内平野を俯瞰し、西は日本海上の男鹿半島、飛鳥、佐渡ヶ島を見る。

【莊内の砂丘】 山形縣の海岸には南は湯野濱から北は吹浦まで三五軒に亘り莊内平野の西を限り砂丘が連つて居る。その幅廣き處は二軒半に及び、今は松の植林を見るやうになつたが、その昔は全く砂漠の状態を呈し、行歩甚だ困難であつた。

吹浦から西北に向ひ、松林の間から吹浦川の口を左に眺め、トンネルを過ぎて日本海の岸に出で、それより鳥海山の裾野の海に迫る處に沿うて北進する。海上

には飛鳥が望まれる。湯ノ田の鑛泉を過ぎ大師崎を望みつゝ、秋田縣に入り、小砂川こさごがわ五哩四も過ぎ、それより暫くして鳥海山の裾野を離れ砂濱に沿うて北進し、象潟さきかた五哩四に着く。

【小砂川海水浴場】 小砂川驛附近。

象潟驛 (一圖たき) 秋田縣由利郡象潟町

酒田から 三六軒五二二哩七

秋田から 六八軒二四二哩四

【古の象潟】 驛の東方及北方に見ゆる稻田のある平野はもと一面の淺灣で、象潟と稱し數多の小島が散在して、鳥海山がその影を映し風景の美しい處であつた。その灣は南北五軒、東西一軒半に及んで居た。しかるに文久元年の地變のために、灣底が隆起して水涸れ、後にはこゝに耕地が出来て、今の状態を呈するに至つたものである。

【千満珠寺】 驛の北方二軒にあり象潟中の勝地として著名なりし所である。今曹洞宗に屬し境内に芭蕉の吟じた「象潟さきかたや雨に西施せいしが合歡ねがひの花」の句碑や西行櫻と

稱するものなどがある。

【象潟海水浴場】 驛附近、旅館 元秋田屋、秋田屋、岡本屋。

象潟を出て北進し、右方稻田の間に松を戴く數多の小丘を眺め、干満珠寺の森を見て東北に折れ、砂丘の間を辿り金浦このうち五軒八を過ぎ夥しき小丘の間に白雪川を渡り羽後平澤三哩六に着く。

【沖の島海水浴場】 金浦驛の西七〇〇米、旅館 若松屋。羽後平澤驛 (一圖た3) 秋田縣由利郡平澤町

秋田から五六軒九一三五哩四
象潟から一二軒三十七哩

【琴ヶ浦海水浴場】 驛附近、旅館 山録。

【小國油田】 驛の南方五軒、院内村上小國にあり、地質は第三紀層で油層は砂岩の間にある。上層は深さ三〇米内外、中層は深さ三〇米内外、下層は深さ四〇米内外、延長六軒の鐵管で驛前へ送油し、油槽車で秋田製油所に送る。

海岸に出て砂濱に沿ひ北進し、道川みちがわ八軒一、下濱しもはま四哩一の二驛を過ぎて後海岸を離れ、東北に折れ丘陵を横ぎり、雄物川下流の平野に入り、新屋あらや四哩五に着く。それより雄物川の鐵橋を渡り羽後牛島うごしじま三軒二を経て秋田あきた二軒七に着く。

【由利油田】 秋田縣河邊郡豊岩村より南方由利郡道川村まで延長南北約一四軒に亘る。日本石油會社經營の油田で地質は第三紀層に屬し概ね頁岩で含油層はその間に介在する砂質凝灰岩である。油層は三層乃至六層淺きは二〇米から深きは八〇米に及ぶ。油井は水壓循環掘四三坑、網掘一三坑、上總掘五一坑、井戸元原油貯油槽一六基の外下濱驛前に五基、道川驛前に三基の貯油槽あり、何れも送油管により土崎港町の製油所へ送る、鐵管の延長二二軒、鑛夫三〇人。鑛産年額原油約十萬石、價額七十萬圓。

【道川海水浴場】 (二圖さ3) 道川驛附近。旅館 道川館、潮館。

【下濱海水浴場】 (二圖さ3) 下濱驛附近。旅館 工藤、

羽後平澤から海岸に沿ひ左窓に男鹿半島を眺めつつ北進し東北に折れ、砂丘の間の西目にしめ八軒四を過ぎ、本莊平野に入り横莊鐵道を右に見て羽後本莊うごほんじょう三哩六に着く。

【羽後本莊驛】 (一圖さ3) 秋田縣由利郡本莊町

酒田から 六一軒九一三八哩五
秋田から 四二軒八一二六哩六

▽横莊鐵道西線 羽後本莊 前郷間 一二軒七十七哩三

▽乗合自動車 町内行

▽旅館 小國 小松屋

【本莊町】 本莊平野の西隅。子吉川こよしの南岸に位し、もと六郷氏三萬石の城下であつた處。米、木材を集散する。

羽後本莊を出て平野の中を東北に進み子吉川を渡りまたその支流芋川を越えて羽後岩谷うごいわや七軒一に折れ、山地に入り折渡峠おりとの長いトンネル(延長一軒半)を経て羽後龜田うごかめだ七軒七に到着。それより衣川を渡り、

下濱館 一みよし屋。

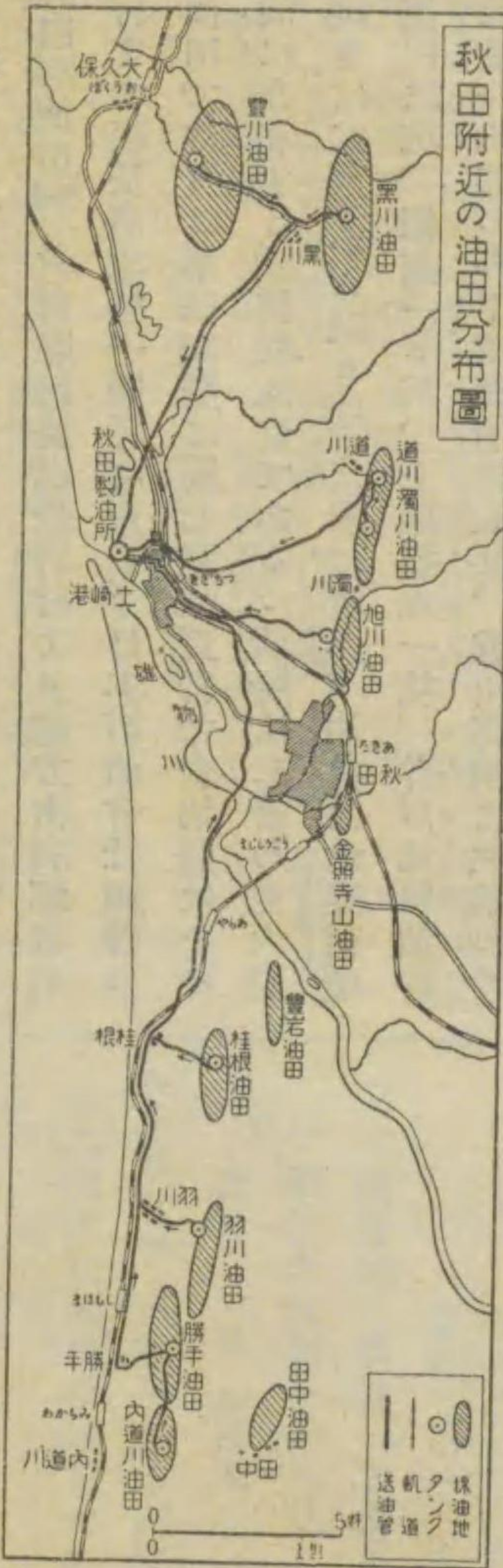
秋田 青森間

奥羽本線により秋田から八郎湯の東岸を経て米代川下流に出てそれより川に沿うて上り、大館から矢立峠を越え津軽平野に入り、弘前市を經、大釋迦附近の隘路を過ぎ青森に至る。その間に數條の支線が分れる。

秋田から 七軒一四哩四

- ▽電車 土崎 秋田間
- ▽旅館 佐清 山内 佐々木

【土崎港町】 雄物川河口の北岸に位し、秋田市の門戸にあたる。製材、製油の業が盛んで、米、石油、木材の集散地である。人口約二萬。



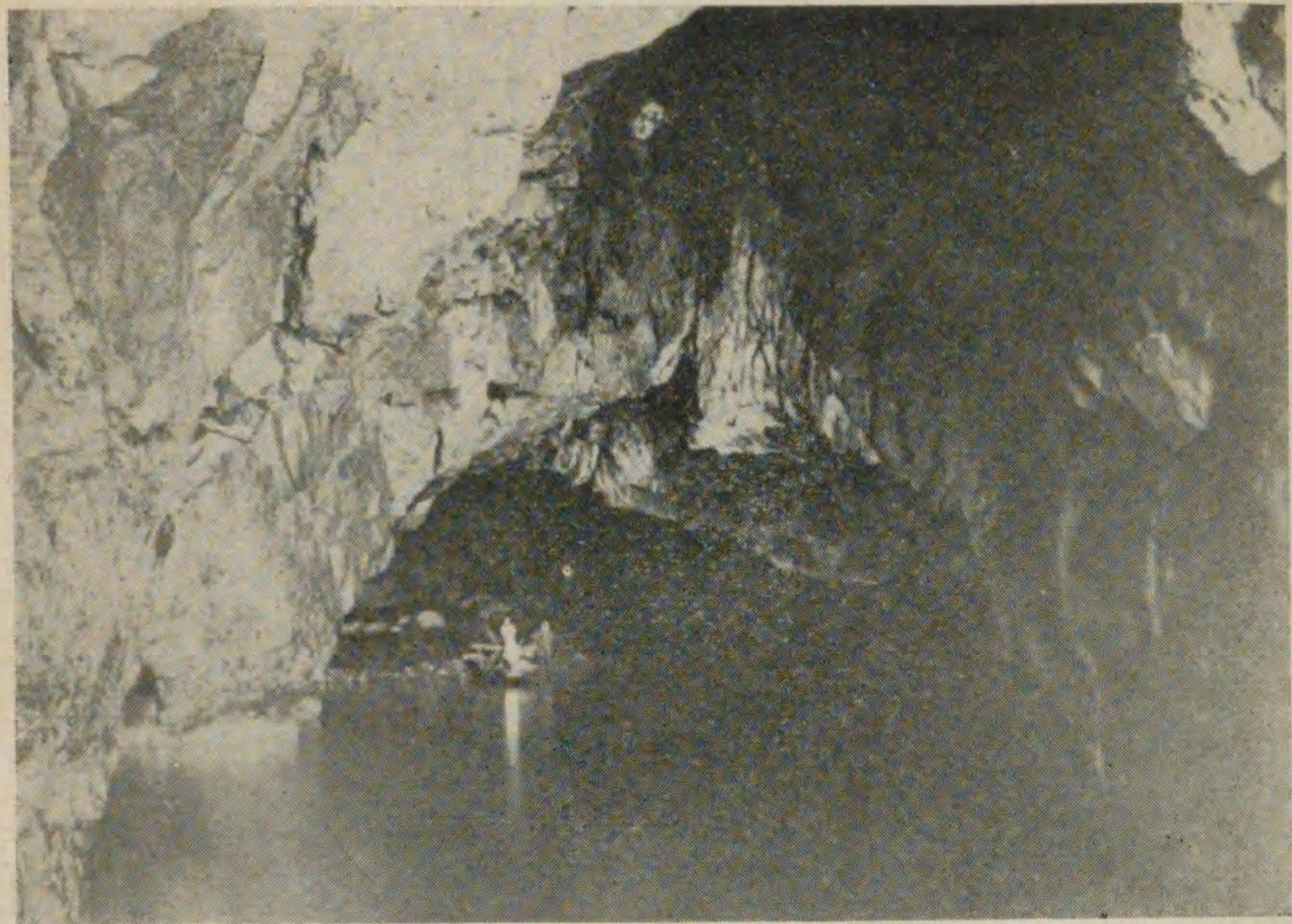
【秋田製油所】 驛の西方

二軒、雄物川河口の北岸に位し、日本石油會社の經營である、貯藏槽二三基、蒸溜釜などを備へ、鑛夫五百人を使役し、豊川、由利、旭川、金照

秋田を出て北に向ひ、右に平田篤胤の墓所のある手形山を望み、西北に轉じ旭川油田の油井櫓を右にして稲田の中を進み、松林の間に入り、右に鐵道工場を見て土崎（七軒一四哩四）に着く。

土崎驛（一圖さき） 秋田縣東秋田郡土崎港町

寺山などの油田に産する原油を精製する。年産石油約十萬石、價格約六百九十萬圓、その他ピッチ、アスファルトム、ブロンアスファルトなどの製品を出す。
【道川油田】 驛の東方約六軒の道川、秋田驛の東北約二軒半の旭川、その東北三軒の濁川の三作業場を有し、



男鹿半島 葛雀窟
弘前最勝院の五重塔



道川に事務所を置き日本石油會社の經營にかゝる。道川方面では油層は頁岩の龜裂に存し深度は三〇〇米乃至三〇米、濁川方面では油層は砂岩中にあり、深度二〇〇米乃至三〇〇米。旭川方面では油層は同じく砂岩中にあり。四層より成り深度二〇米内外、三〇米内外、五〇米内外、五〇米内外、油井は水壓循環掘二坑、綱掘三五坑、上總掘三五坑。原油は鐵管で鑛場の貯油場に全部集收し、更に土崎港町の製油所へ送る。鐵管延長一九籽。鑛夫四〇〇人。鑛産年額原油約十六萬石、價額約百萬圓に及ぶ。

土崎から左に見える羽州街道に並び北進して、初めは松林の中を過ぎ新城川を渡つてから稻田を右にして追分おいはひ六籽ろくしに着く。こゝは船川線の分歧點である。

追分驛 (一圖ささ) 秋田縣南秋田郡金足村

秋田から 一三籽一八哩一

▽船川線 追分 船川間 二六籽五一六哩五

【黒川油田】驛の東方約八籽、黒川部落の東一籽半にあたり日本石油會社の經營である、地層は第三紀層に

秋田青森間

屬する黑色頁岩及頁岩質砂岩より成り、その傾斜角度平均二〇度を超えないで良好なアーチ構造をなし、油層は黑色頁岩の下部にある綠色凝灰岩に存し、その深度は三〇米内外。油井は水壓循環掘三坑、綱掘八二坑。大正二年その綱掘第一號井は深度三〇米で、日産三百五十石の出油を見、大正三年水壓循環掘第五號井は深度四四米で日産一萬石を自噴し全國産油の最多記録を示した、その後當時の如き大噴出を見ないが全國屈指の油田として盛況を持續して居る。原油は延長一一籽の送油管で土崎港町の製油所に送る、鑛夫三〇〇人、鑛産年額約十五萬石、價額約百萬圓に及ぶ。

船川線

追分 船川間 二六籽五一六哩五

男鹿半島の南岸に通ずる線路で、八郎潟に舟遊せんとするもの、半島西南岸の奇勝を探らんとするもの、及寒風山さむかぜ、本山ほんざんの登山を試みんとするものなどはこの線による。

追分から西北に向ひ、奥羽本線から左に分れ、長沼を左に見、砂丘の松林を見つゝ進めばやがて右方には稻田が展開し、それを越して八郎潟が眺められる。二田^{ふただ}六^{ろく}哩^り五^ごを経て、八郎潟湖口の鐵橋を渡る。右には廣々とした湖面が見はらされ、漁撈用の「はつきり」(鮒)が水面に簀^すの上部を見せて居る。左には八龍橋が見える。橋を渡れば船越^{ふなこし}二^に哩^り七^{しち}に着く。これから西に向ひ左に寒風山を望み、脇本^{わきもと}二^に哩^り六^{ろく}を過ぎ、丘陵の間を辿り羽立^{はたち}二^に哩^り九^くを経て、西南に折れ船川^{ふなかわ}二^に哩^り八^{はち}に着く。

【八郎潟】 一に八郎湖と云ひ、秋田縣の西部に位し、東西一二籽半、南北二四籽、周圍八一籽、橢圓形を呈し、面積三三方籽を占め、琵琶湖の約三分の一で全國第二の大湖である。この湖はもと日本海の一部であつて今の男鹿半島はその西に離れ島になつて居たものであるが、それが長い年月の間に東北及西南の兩方面に砂嘴が發達し、陸から島まで連なつたために閉塞されて湖水となつたのである。南岸の

船越の水道で外海に通じ、南部の湖水は海水を混じて多少鹹味を帯びて居る。水深は中央からやゝ北に偏した處で最大で、深度四米半に過ぎない。十二月下旬になれば湖畔の浅い處に薄氷が張り一月下旬には全湖面が凍結し湖上人馬が通る。解氷は二月下旬に始まり三月中旬には全く融ける。湖水に棲む魚類はわかさぎ、ごり、ぼら、ふな、えびなどである。結氷期には氷下引綱が行はれる。船越の村落に近い湖畔の八郎神社は傳説の湖の主八郎太郎を祀ると云ふ。そのあたり湖の大觀が出来る。

【寒風山】 海拔三三米、脇本驛の西北約三籽に位す。山頂圓形をなし長く緩かなる裾野を曳き、最大傾斜も一五度に過ぎない、頂上には二個の火口址がある。その一は西北部に位し、火口壁は低い丘狀の環丘で、内側には直徑七〇米の圓形の窪地がある。他の一は前者の火口壁の南部を破つて生じたもので直徑約四〇米、火口底の中央より西に偏して小さな沼がある。舊火口壁には輝石安山岩が現はれて居る。登山は脇



本驛から西北に向ひ岩倉を經由する。往復に徒歩で三時間かゝる。

船川驛 (二圖たゞ) 秋田縣南秋田郡船川港町

追分から 二六軒五十一六哩五

▽旅館 諸井、泉

【船川港】 男鹿半島東南岸にある港市で、西北に本山、眞山、東北に寒風山が聳え、その餘脈は港の背面を包み西北風を遮る。北日本西海岸の良港である。

【男鹿半島島巡り】 (二九圖) 季節は五月から十月まで、中にも梅雨期が波靜かである。

船川港から遊覧船に乗つて半島の南岸及西岸を巡り加茂に至り引き返すのが普通である。先づ港の防波堤を出で燈臺を右に見て根ノ崎を廻れば岩礁に擁せられた南平澤の漁村がある。その南方の沖合には一文字を描く百間瀬が左方に望まれる。これより岸を離れて鵜崎を目ざして行く。北には増川、西には女川の部落が見え、女川の上には平らな段丘が眺められる。臺島の部落に近く西に進めば雄島、雌島、

蛭子越、龍ヶ崎、身投石などの岩礁が順次に眺められる。金ヶ崎を廻れば椿の部落がある。こゝには能登山と云ふ丘があり全山野生の椿で掩はれ花季には美觀を呈する。こゝは椿北限地の一をなして居る。

左に三線島を見て右方に館山崎に近よれば、御前落しの懸崖が物凄く聳えて居る。これを廻れば双六灣があり、灣内には鰐淵石、辨天島、潛岩がある。更に進めば龍卷石があり、小濱の部落を過ぎて巨大な帆掛島を仰ぐ。その左には鹽瀬崎が突出し附近は浪荒く雄大なる風景を示す。このほとりに五郎投石、扉島、秋刀魚岩、垢取島、油島、大立島、小三島などの奇勝がある。

その次の部落は門前で北約四軒に本山の赤城神社がある。これを過ぎて半島の西南端に出ると龍ヶ島がある。高さ二〇米ばかり、さながら龍が頭を上げて昇天せんとする姿を示して半島の絶勝の一に數へられる。島の頂にはみさごが巢を構へ、ダアノが白く光る。陸には幅の廣い大瀧が見え、附近には岩礁

が多く、御幣島、小虎島、大立栗島、孔雀島、寶師ヶ窟島、鉾立島、烏帽子岩、甲島、舞臺島など送迎に違なく眺められる。舞臺島の附近には蝙蝠ヶ窟あり多くの蝙蝠が棲んでグアノが夥しく堆積して居る。北に進んで阿字ヶ島に着く、その上は平らであるから船に揺られた疲れを休めるによい。こゝから烏海山が東南遙に望まれる。屏風のやうな斷崖に沿うて進めば蒿雀ヶ窟がある。窟は海波の浸蝕によつて穿たれたもので、入口は高さ、幅共に六米ばかり、藍色の海水は暗黒の洞内に湛ひ凄愴の感がある。波につれてこれに入り込めば四〇米ばかりで砂礫の濱に達する。こゝで上陸して更に奥に進むことが出来る。窟を出て北行、右に櫻ヶ瀧を眺め、巨大なる石門を船で潜る、これは大棧橋と稱し、龍ヶ島、蒿雀窟と共に男鹿の三大偉觀と稱せられるものである。同じく石門で規模の小さなものに小棧橋と云ふのがある。海水の渦巻をなし小船は吸ひ込まれると云はれる船隠の窟を過ぐれば、陸上に白絲瀧が眺め

られる。更に進んで弋島、黒島、立島、蓮華島、豊島などを見て加茂の部落に近づき鑰洞の巨岩を眺める。これを普通島巡りの終點として船川へ引返す。船川より往復五時間を要する。もし加茂で上陸して北進すれば四軒で戸賀灣の見える處に達する。そこでは近く三ノ目湯を見下し、右方に遠く二ノ目湯の窪地を見、直下に橢圓形の一方の缺けた戸賀灣が眺められる。これらは二ノ目湯の東方にある一ノ目湯と共に水蒸氣その他の爆發して生じたマールで戸賀灣の外には、マールの周邊の一部をなす島列を見る。加茂から船で戸賀灣に行くことも出来る、その間には蓬萊島、大黒島、恵比壽島などが眺められる。戸賀灣の北岸には戸賀の部落がある、加茂からこゝまで七軒。陸上よりするも海よりするもこゝに至り、更に東方四軒で湯本の温泉に達する。これは炭酸石灰泉で、多くの石灰華を沈澱し木ノ葉石が出来て居る。湯本からは北浦を経て一四軒で羽立驛に出る。

追分から松林の間を西北に進み、北に轉じて廣き稻田に出で、石油によりて榮えて居る大久保の市街を過ぎ大久保七軒二哩五に着く。

大久保驛(一圖さ) 秋田縣南秋田郡大久保町
秋田から 二〇軒三一二哩六

【豊川油田】 驛の東方二軒半、豊川村及金足村に跨り日本石油會社の經營である。表面地質は黑色頁岩で、走向は東北から西南、傾斜は東南に二〇度内外の單傾斜、ほど走向に並行した二條の斷層で西方が限られ、豊川、浦山の二油帯を形成して居る。油層は頁岩の龜裂より成り深度は二〇米前後と、四〇米前後の二層である。油井は水壓循環掘三三、坑綱掘三三坑、上總掘三三坑。原油は土崎港町の製油所まで鐵管によつて流送する。鑛夫八〇人、年額原油約十五萬石、價額約百萬圓。

【小倉豊川油田】 驛の東方二軒半、豊川村にある小倉石油株式會社の經營で、地質は緩傾斜の單斜構造で、東北に走り、數條の斷層によつて切斷せられ、頁岩中の空隙に石油層がある。油井は水壓循環掘五七坑、上

總掘二一坑、手掘二坑より成る。年産原油約二萬四千石。

大久保を出て右方遙に丘陵の上及その附近に油井槽の林立するを見、左方稻田のかたに八郎瀉の大湖を眺めて北進し、羽後飯塚二軒を過ぎ馬場目川を渡つて一日市三軒三に着く。こゝは五城目軌道線の分岐點である。

更に右に森山を望み北進すれば稻田次第に狭くなり線路は湖に近づき、湖畔に松を戴く小丘を見る。こゝは三倉鼻で東岸から八郎瀉を眺望するには最もよい處である。やがてトンネルを過ぎ丸材の發送多き鹿渡一〇軒九を経て漸次湖に遠ざかり、三種川を渡り森岳六軒八を過ぎ、原野の間を走り、米代河畔の機織一〇軒三に着く。こゝは能代線の分岐點である。

能代線

機織 岩館間 二九軒一一八哩一

機織から米代川の左岸に沿ひ西進して能代二哩五に至り、北に轉じて米代川を渡り羽後東雲三哩四、澤目四哩七の二驛を経て海岸に出で八森四哩一、椿四哩七を過ぎ岩館三哩九に至る。

【能代港町】 米代川河口の南岸に臨む、秋田木材會社を始め製材工場が多く、また能代春慶塗の特産がある。人口約二萬二千。

【沙ヶ島のガンガラ洞と七ツ池附近の湖沼群】 (二圖た) 岩館驛の西北一八軒、途中驛から四軒で秋田、青森の縣境の須郷岬に達する、その附近には岩礁が多く、風景が雄大である。それより北に向ひ大間越を過ぎ森山に至れば海岸に近く沙ヶ島がある。その西岸の洞窟は海波の浸蝕によつて出来たもので、洞内水深く海波反響して美音を發する、その音よりガンガラ洞の名が附せられ洞内には佛像が安置されて居る。

森山の東方には鬱蒼たる森林中に神秘的な七ツ池などの湖沼の群がある。森山の南方二軒弱の濁川の

て名高い遺蹟で、土器の外、石鏡、玉類、土偶その他種々の遺物を多量に出し、その多くは東北帝國大學法文學部に所藏せられて居る。

鷹巢驛 (一圖さ) 秋田縣北秋田郡鷹巢町

秋田から 八六軒一五三哩五

【阿仁鑛山】 驛の南三六軒、阿仁合町及荒瀬村に跨る古河鑛業株式會社經營の銅山である。天正年間の發見で地質は第三紀層及これを貫く火山岩より成り、貝類の化石並に珪化木を産する。鑛床は大小數百條の鑛脈より成り、鑛石は黄銅鑛を主とし黄鐵鑛を伴ふ。これを粗銅に製し二ツ井驛を経て栃木縣の日光精銅所へ送る。鑛夫男約七〇人、女約七〇人、鑛産年價額約三十四萬圓。

鷹巢を出て東北に向ひ早口川を渡り、早口八軒七を過ぎ、岩瀬川を渡り大館盆地に入り、やがて大館九軒三に着く。こゝは秋田、小坂兩鐵道の起點である。

【赤倉鑛山】 早口驛の北方二〇軒、山瀬村田代岳の東

畔から街道を離れ、川に沿うて上ること二軒で最初の沼に達する。それより東北に向ひ漸次東南に折れ弧形を描いて二軒半の間に七個の沼が連る。それが七ツ池である。その南に二個あて四列を作る沼がある。中にも最南に位する大池は海拔三三米に位し、この湖沼群中最大で長徑九〇米に及ぶ。

機織を出て東方に向ひ米代川の河谷を上る。左に防雪林を見、二個の小トンネルを過ぎ富根一〇軒一を經、米代川を渡り、二ツ井六軒八、四哩二を経て藤琴川を渡り、俣后坂の下に通ずるトンネルを過ぎる、振り返れば右窓に秋季錦を彩る坂上の紅葉が見られ、米代川の對岸には七座山國有林の杉林が眺められる。更に二個のトンネルを過ぎ、鷹巢盆地の稻田の間を進み、右方遙に森吉火山を見つゝ鷹巢七哩八に着く。

【麻生石器時代遺蹟】 二ツ井驛の東六軒、七座村麻生部落の南方にあたり、俗に矢拾場と呼ぶ丘陵の傾斜面に遺物包含層がある。こゝは津輕式土器の發掘によつ

南麓海拔五〇米に位する硫黄山。鑛床は凝灰岩中に溫泉作用により岩石の一部と交代した硬質硫黄鑛で大塊をなして存在する。鑛石は製鍊の上早口を經て需要地へ發送する。

大館驛 (一圖さ) 秋田縣北秋田郡大館町

秋田から 一〇四軒一六四哩七

青森から 八一軒七一五〇哩八

- ▽秋田鐵道 大館 陸中花輪間 三七軒二二三哩一
- ▽小坂鐵道 大館 小坂間 二二軒七一四哩一
- ▽乗合自動車 毛馬内行 大館 花岡間 四軒八一三哩
- ▽旅館 (驛前) 花岡支店
- 〔町内〕 花岡本店 大館ホテル

【大館町】 大館盆地の東部に位し、交通の要點にあつて居る。もと秋田藩の支藩を置いた處で今は製材業が盛に行はれ、物資の集散が多い。町では古來鬮犬が行はれる。また城址は長木川に據つた臺地にあつて濠の一部が残る。人口約一萬五千。

秋田鐵道

大館 陸中花輪間 三七料二二三哩一

大館から東南に向ひ米代川に沿ひその上流毛馬内盆地に入り花輪町に達する線路で、大湯温泉に浴するもの、十和田湖探勝を秋田縣方面から志すもの、尾去澤鑛山に至るものなどこの道を探る。途中大瀧温泉、十二所、毛馬内などの諸驛を過ぎる。

【大瀧温泉】(三圖か2) 大瀧温泉驛附近、米代川の清流に臨んで居る。アルカリ性鹽類泉で胃腸病、呼吸器病、リウマチス、婦人病などに効くと云ふ。旅館前田、奈良、藤島、外七軒。

【猿間鑛山】 十二所驛の北三料半、十二所町猿間にある三菱鑛業會社經營の銅山で、鑛床は凝灰岩中に胚胎せる正規鑛脈である。鑛石は主に黄銅鑛で尾去澤鑛山に送つて製鍊する。

【不老倉鑛山】 毛馬内驛の東北二四料、大湯村不老倉にある古河鑛業會社經營の銅山で、天和元年の發

に轉じ大湯川と分れ、その支谷に入り勾配の次第に増し行く山路を登る。遂に谷を上りつめ傾斜のやゝ緩かな處へ出て發荷峠に達する。こゝは海拔百七米、ぶなの大樹が疎生して居る。その間から十和田湖の大觀が出来る。正面には西湖から北湖に續く水面が三六米の下に俯瞰される。そのこなたの岸に生出の和井内ホテルや和井内鱒の孵化場の建物が手に取るやうに見える。右には低き中山半島と高き御倉半島が重なつてその中間に火口湖中湖の水面を見せ、御倉半島の向ふには湖岸の御子岳が望まれる。その右には戸來岳(海拔一三三米)が屹立する。また遙に前方には湖を取捲く青撫山及御花部山のかなたに八甲田群山の南部に聳える赤倉岳(二、三三米)乗鞍岳(一、四三三米)樺ヶ峰上岳(二、五七米)が右から左に竝ぶ。秋季湖岸の森林錦を織りなす頃は極めて美觀を呈する。汗知らずにて十和田湖の全景を見うる處は今の處この峠のみである。發荷峠から火山灰の堆積した處を斜に西北に下り、右に轉じ湖岸の生出(和井内鱒孵化場所在地)

見と傳へられる。地質は第三紀の凝灰岩及頁岩とこれらの間に存する安山岩で、裂罅充填鑛床、鑛石は黄銅及黄鐵鑛を主とする。小坂鑛山に委託して製鍊する。

【大湯温泉】(三圖か2) 毛馬内驛の東北八料、自動車の便あり、毛馬内口から十和田湖に入る遊覽者の休憩地である。米代川の一支流大湯川の畔に至るとこゝる温泉の湧出を見る。泉質はいづれもアルカリ性鹽類泉で胃腸病、婦人病、神經諸病、リウマチスなどに効くと云ふ。旅館 大湯ホテル、龜屋、千葉、外五軒。

【十和田湖毛馬内口】(一五圖) 毛馬内驛から大湯温泉を經、北方發荷峠を越えて十和田湖畔生出に至る二六料の通路で自動車の便がある。先づ大湯温泉を過ぎ大湯川を北に渡りそれに沿うて東北に進み黒森山の東麓を過ぎ右に筑紫森を眺める。このあたりから秋季雜木の紅葉が美しい。それより右に笹森山を望んで次第に登り右に大湯川に懸る錦瀧を見て、北

に着く。峠から生出までは二料。その間常に林の間から湖面が眺められる。

【尾去澤鑛山】 花輪驛の西三料半、尾去澤村にある三菱鑛業會社經營の銅山で、和銅年間の發見と稱して居る。地質は第三紀層及これを貫く安山岩、石英粗岩より成り、これらの噴出岩のために生ぜる裂罅に鑛液の填して鑛床をなすものである。鑛石は黄銅鑛が主なるもので他の鑛山の鑛石と共に粗銅に製し尾去澤驛から栃木縣日光及大阪市の精銅所に送る。鑛夫一、五〇人、鑛産價格約百十萬圓。

【湯瀨温泉】(三圖か2) 花輪驛の東南一〇料、自動車の便あり、米代川の峽流に臨む硫黄泉で、眼病、皮膚病、創傷などに効くと云ふ。旅館 關、阿部、他三軒。

小坂鐵道

大館 小坂間 二二料七一四哩一
大館 花岡間 四料八一三哩

小坂鐵道は大館から一方は東方長木川の峽谷を辿

り小坂鑛山の所在地小坂町に達し、一方は西北花岡鑛山に通ずる。

【長木澤國有林】長木川の水源に位し、小坂鐵道茂内驛から二ツ屋驛まで貨物線を通ずる。十年前までは杉の美林が九千町歩もあつたが、小坂鑛山の煙害をうけて一部立枯となり、現在は三千餘町歩の杉の純林と千五百町歩の杉雜木混淆林に減少した。

【小坂町】有名なる鑛山市街で、人口約一萬三千。

【小坂鑛山】小坂町にあり、藤田鑛業會社の經營せる全國著名の鑛山で、文久元年に發見せられた。地質は火山岩及成層岩の錯綜した配置からなり、鑛床は黒鑛で巨大なる塊狀をなして居る。探鑛は露天掘及坑内探掘の二種を併用し、粉鑛は或は製團機で固結し或は燒結し塊鑛と共に熔鑛瀝に装入し、ベセマ一式製銅法により熔鍊を行ひ、含銅穴、セ%以上の粗銅とし鑄型に入れ原銅版とする。これを電鍊場で電氣分銅法により電氣銅と金銀貴澱物に分離し、電氣銅は市場に出し、貴澱物は製銀爐で精製して金銀塊とする。

【十和田湖小坂口】(一五圖)小坂驛から十和田湖畔鈴山に通ずる一七籽の山路である。全部徒歩による。

小坂の市街を過ぎ鑛山の露天掘を見て東北に向ひ荒川の谷を上り、徳兵衛平を横ぎつて鉛山峠に出る。峠は海拔八〇米、湖上の展望がよい。これより東北に下ること三籽鉛山に達する、この道にはかなり岐路があるから案内者を要する。

【花岡鑛山】大館驛から通ずる小坂鐵道の一終點花岡驛の所在地にある藤田鑛業會社經營の銅山。明治十九年の發見で、鑛床は黒鑛、鑛石のまゝ、小坂鑛山へ送鑛、鑛夫一、六〇人。鑛産年額銅鑛約一五、五〇〇噸。小坂鑛山の銅鑛の七割を供給する。

大館を出て北に向ひ、近く獅子ヶ森山を右に見、萩長森の圓錐山を左に望み、防雪林を過ぎ、大館盆地を去る。これより勾配の加はる線路を辿り、城ヶ森を右に仰ぎ、トンネルを経て、白澤六籽六を過ぎ、左右に聳ゆる女神山、男神山、城ヶ倉山を順次に眺めて秋田縣

とする。

製鍊場には製團機三臺、燒結ポート六座、熔鑛爐一〇座、轉爐三臺、銅電煉槽六〇個、分銀爐二座、金銀沈澱物熔解爐一座などを備へて居る。

鑛石は電車により運搬する外不老倉鑛山との間は架空索道による、鑛夫男二、七五〇人。鑛産は年額探掘金銀銅鑛六、四〇〇噸、製鍊は他鑛山産の元鑛を加へて五、〇〇〇噸を原料とし、金五五、〇〇〇瓦、銀一六、四〇〇瓦、電氣銅四〇、〇〇〇、〇〇〇噸、蒼鉛三、〇〇〇噸、總價額約七百九十萬圓。

【濁川の噴泉塔】(二圖さ2)小坂驛の北約八籽にある指定の天然記念物である。もと炭酸泉の湧出した跡に八個の石灰華塔が群集して居る。これは溫泉噴出口の周圍に沈澱して生じたもので、今は全く噴出力なくたいゝ温い炭酸瓦斯のみを出し虫地獄をなして居る。塔は二重構造をなし、内部は多孔質の堅き石灰華より成り、外部は多量の酸化鐵を混へ土狀を呈する軟かき層で蔽はれて居る。

の最北驛なる陣場七籽一に着く。

陣場驛 (一圖さ2) 秋田縣北秋田郡大館町長走

秋田から 一七籽八一七三哩二
弘前から 三〇籽六一九哩

【長走風穴地帯の高山植物】(二圖さ2)驛の南一籽半にある指定の天然記念物である。風穴は國見山の東側山腹海拔一五米の處にあり、石英粗面岩の崩壊して累積した間に間隙を存し、傾斜せる地面の處々に開口して寒冷な空氣を吐出して居る。そのため附近には高山性植物の群落が存して珍奇なる植物分布を示して居る。その植物の主なるものは、こけもも、すのき、うすのき、大葉すのき、ごぜんたちばな、大高根ばら、なんぶそら、えぞきんばいなどである。

【矢立、日景、下内澤溫泉】(三圖さ2)驛から北二籽半乃至三籽の間に在り、泉質は矢立は含鐵炭酸泉で加熱したもの、胃腸病、リウマチス、婦人病などに効くと云ふ、旅館安突。日景は鹽類性硫黃泉で、リウマチス、婦人病、特に皮膚病に効くと云ふ、旅館日景。下内澤

は弱アルカリ泉で、眼病、創傷、リウマチス、婦人病などに効くと云ふ、旅館は日景の別館。

陣場を出て後、最急千分の二十五の勾配で矢立峠に登る。この間下り列車は補助機關車を連結する。右窓の左右に杉の美林が見える。これは秋田縣下の國有林中鐵道線路に最も近き保護林である。四個の雪覆三個のトンネルを過ぎて後、海拔三百米に位する縣境の矢立第四トンネル(延長八三米)を経て、青森縣陸奥に入る。それより北流する平川の上流は沿ひ最急千分の二十五の勾配を下り三個のトンネルを過ぎ、四たび平川を渡つて碓ヶ關一〇軒六に着く。

碓ヶ關驛 (一圖さ2) 青森縣南津輕郡碓ヶ關村

秋田から 一八八軒四一七九哩八

弘前から 二〇軒一〇二哩四

【碓ヶ關温泉】(三圖か2) 驛の東南八〇〇米、自動車の便あり。平川に臨む鹽類泉で、呼吸器病、胃腸病、婦人病などに効くと云ふ。旅館 葛原、柴田。

旅館 大鰐は、加賀助、大鰐ホテル、後藤、金森、一二三館。藏館は、仙遊館、福島館、公遊館、その他兩所を通じて三十五軒。

【大圓寺】(二圖さ2) 驛の東約六〇〇軒、俗に大日堂と云ふ。寺傳によるととは高伯寺と稱し神岡にあつたが慶安三年今の所に移して後大圓寺と改稱した。本尊阿彌陀如來の坐像は木造黒漆金箔押で高約二米、鎌倉時代の優秀な作で今國寶となつて居る。寺の門前には古來有名な萩桂の老木がある。

【大鰐スキー場】 温泉の東南に聳ゆる阿闍羅山(海拔七〇〇米)一帯は、十二月下旬から三月中旬まで一米半乃至二米の積雪があり、雪質も優良で、東北有数のスキー場として年々競技會が催される。地形が競技場として適して居り、立派なジャムプ臺の設備があり、青森、弘前方面のスキー家が多く集る。

大鰐を出て平川を渡り山峽を過ぎ、三ツ目内川を渡り津輕平野に出て、石川五軒三を過ぎる。それより落

【湯の澤、新湯の澤温泉】(三圖か2) 驛の南約六軒、湯の澤は鹽類泉で、皮膚病、リウマチス、脚氣、婦人病などに効くと云ふ、旅館秋元。新湯の澤は強食鹽泉で、皮膚病、リウマチス、婦人病などに効くと云ふ、旅館成田。

碓ヶ澤から北に向ひトンネルを過ぎ平川を渡り、西北に折れ、右に阿蘇ヶ岳、左に大高森を望み、近く藏館、大鰐の市街を左に見て大鰐五哩一に着く。

大鰐驛 (一圖さ2) 青森縣南津輕郡大鰐町

秋田から 一三六軒六一八四哩九

弘前から 一一軒七一七哩三

【大鰐藏館温泉】(三圖か2) 驛の東南半軒乃至一軒、自動車の便がある。弱鹽類泉で脂肪過多症、婦人病、リウマチスなどに効くと云ふ。平川の清流を隔て、南が大鰐、北が藏館温泉、東北に楠ヶ峰、西南に甚吉森の諸山を繞らし、山水の風色秀麗である。附近の茶白山公園は眺望が廣く、その麓に狐森のスキー場がある。

葉松の防雪林を左にし、津輕富士の稱ある岩木山の雄姿を眺めつゝ弘前四哩に着く。

弘前驛 (一圖さ2) 青森縣弘前市

秋田から 一四八軒三一九二哩二

青森から 三七軒五一一三哩三

▽弘南鐵道 弘前 津輕尾上間 一一軒一六哩九

一日平均

乗車人員 二、四七〇人 降車人員 二、五五〇人

發送貨物噸數 一八噸 到着貨物噸數 三六噸

主要發送貨物 林檎 砂糖 米 清酒 味噌醬油 木材類 農製品

肥料類 馬 鐵及鋼製品類

主要到着貨物 木材類 石炭 米 薪 木炭 人造肥料 飼料 活

鮮魚 大豆粕 肥料類

▽旅館 齋吉(元寺町) 石場(元寺町) 齋藤榮助(土手町) 竹内

(土手町)

▽料理店 醉月(本町) 新若松樓(桶屋町)

【弘前市】(三〇圖) 津輕平野の南部に位し、西北に岩木山を負ひ、岩木川に臨む。もと津輕氏十萬石の城下であつた處、市街は上町、中町、下町の三部より成り、

舊城及東南部は上町、城北は中町、城南の低地は下町、市内の最も繁華なのは土手町、一番町、親方町などである。林檎、米などの農産物を集散し、商業盛に行はれ、名産には津輕塗、木通蔓細工などがある。人口約四萬四千。

▽官公廳その他 市役所(元寺町) 公會堂(上白銀町) 第八師團司令部(市外富田町) 歩兵第四旅團司令部(市外富田町) 歩兵第五聯隊(市外筒井村) 歩兵第三十一聯隊(市外千年村) 野砲兵第八聯隊(市外富田町) 輜重兵第八聯隊(市外清水村) 高等學校(市外清水村) 物産陳列館(鞆師町) 商業會議所(鞆師町)

▽銀行 第五十九銀行(親方町) 弘前銀行(大町) 弘前商業銀行(百石町) 津輕銀行(百石町) 弘前宮川銀行(土手町)

▽新聞社 弘前新聞社 弘前大正報社

▽病院 市立弘前病院 伊東病院

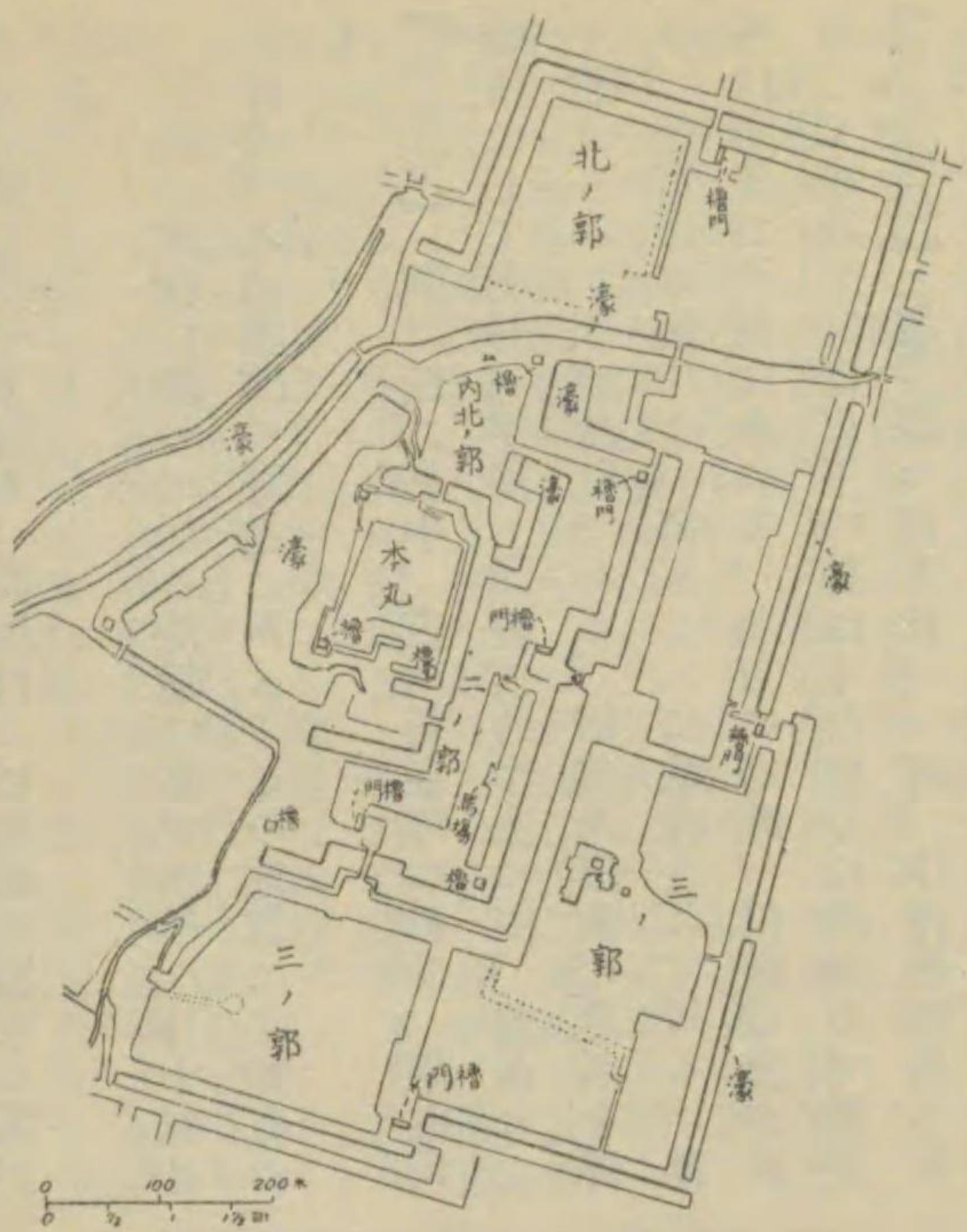
▽娛樂場 弘前座

【遊覽順路】 驛—代官町—土手町—物産陳列場—公園

—公會堂—長勝寺—最勝院—高等學校—師團—驛

【津輕塗】 弘前の名産として古い歴史を有して居る。

て居る。城は慶長年中津輕信牧の築くところにかゝり爾來津輕氏累代の居城であつた。明治維新廢城の後三ノ丸に陸軍兵器支廠が設けられ、本丸、二ノ丸及三ノ丸



丸の一部は公園として保存せされ、鷹揚園と名づけられる。本丸址は頗る眺望に富んで居る。

【八幡宮】(縣社) 驛の北約二軒半、市内田町にある。弘

秋田青森間

元祿年間池田源兵衛の發明したもので、藩主の保護を受けて發達を來した。堅牢で雅致に富んで居るので名高い。

【獅子踊】 市内松森町に古から傳はる踊で、その歌詞は、

君の御屋形見申せは萬々歳と建てた御屋形。
君の御堀を見申せは御代はめでたくさざ波立つ。
嬉しや風や霞や吹きはらふ、今こそ女獅子にあふぞうれしき。
わいらが國からいそぎ戻れとふみが来ておいさま申していざかへりましよ。

【林檎の古木】 青森縣の林檎は明治七年頃から栽培し始めたもので、弘前市外清水村に當時のものが一本残つて居る。その幹の直徑約三〇糎に及ぶ。こゝに栽培功勞者外崎翁記念碑がある。

【弘前城址】 驛の西方約二軒、本丸、二ノ丸、三ノ丸の周濠土壘石壁などもとのまゝに存し、東西六〇米、南北一軒に亘つて居る。本丸址には追手門を始め東門、北門の建物を存し、二ノ丸址には東北、東南及西南の隅矢倉と東門、南門を残し、本丸址には天守閣を存し

前城鎮護の神としてまた弘前の總鎮守として津輕氏が代々厚く崇敬した神社である。

【熊野奥照神社】(縣社) 八幡宮のすぐ前にある。當社も津輕氏の崇敬を受けた神社である。

【最勝院五重塔婆】 驛の西方一軒半、市内銅屋町にあり。最勝院はもと大浦八幡宮の別當で市内田町八幡宮境内にあつたが、維新の際今の地に移轉したのである。その寺域は舊大圓寺の地で、五重塔婆も大圓寺に屬し寛文中津輕信政の建立したものである。今特別保護建造物となつて居る。三間三面上層の屋根は銅瓦葺でその下の四層は銅瓦と銅柿の葺分である。軒の出深く桁組は三手先を用ゐる繁雜なる裝飾を用ゐずして整齊の美を現はした江戸時代に於ける優秀なる五重塔婆である。

【長勝寺】(曹洞宗) 驛の西方約三軒半、市内西茂森町にあり、大永年中大浦盛信が父光信のために大浦村種里に創建した寺で、後賀田村に移され、慶長年間更に今

の地に移轉された。津輕氏の菩提寺で、本堂の直ぐ後に津輕藩祖爲信の御影堂がある。内部に入母屋造の内御堂を設け爲信の木像を安置して居る。坐像で袍を着け手に笏を持つて居る。尙境内には津輕氏數代の廟がある。

門内の鐘樓に懸つて居る梵鐘は嘉元四年八月十五日北條貞時入道崇演の寄進にかゝりこの地方には稀有のものである。

【報恩寺】 驛の西二軒半、市内新寺町にあり、津輕氏廟所にして明曆三年藩主津輕信義卒去の際、遺命により建立された天臺教院である。信義及信政の墓所を營み、後信壽以後代々の墓もこゝに改葬されて居る。墓所は本堂の西側にあつて、北方に信義、信政の墓が東面して相並び信壽以下の墓はその南方に相並んで居る【高照神社】「縣社」驛の西方約一一軒、中津輕郡岩木村百澤俗稱高岡にある。津輕平野の西方、岩木山神社の東方の山麓に一勝區を占め、津輕藩祖爲信及第四代目の藩主信政を祀つて居る。寶永七年信政をこの地に葬

護建造物となつて居る。

樓門は寛永五年藩主信牧の建立にかゝり、五間三戸の樓門で入母屋造銅柿葺三手先詰組を用ゐ、隨所に繪様彫刻を施し總丹塗の宏大な建築である。

拜殿はもと別當百澤寺の觀音堂であつたが、神佛分離の際百澤寺の廢せられた時、當社の拜殿とされた。五間五面單層入母屋銅柿葺にて正面に千鳥破風を附し出組を用ゐる腰に廻椽を繞らし、内部は前二間通りを外陣となし内陣は三方に入側を設けその内一段高く疊敷となつて居る。内外共に總丹塗、細部の手法よく江戸時代の特徴を現はした優秀なる建築である。

本殿は元祿年中藩主信政が巨費を投じて營造せるものにかゝり、三間社流造屋根の銅瓦を始め建物の金具など悉く金銅を用ゐ、正面向拜柱に龍の彫刻をなし頗る精妙なる繪様彫刻を施し、内外とも總漆塗となし極めて華麗なものである。

奥宮は俗に御室と稱し隔年毎に改造するものにて、舊曆六月二十日にその奉建祭を行ひ、また毎年舊曆七

り、後社殿を造營し、高照神社と稱して居たが、明治十年藩祖爲信を合祀したのである。信政は山鹿素行及吉川惟足を師とし、制度を改め文教を興し山林墾田治水などに力を致し、或は有用植物の移植、魚貝の繁殖を計り、大に濟世救民の方法を講じ津輕産業の神と崇めらるゝに至つた。社殿の後方にその廟がある。また藩祖爲信の廟は弘前市の西郊藤代村の革秀寺境内にある。

寶物

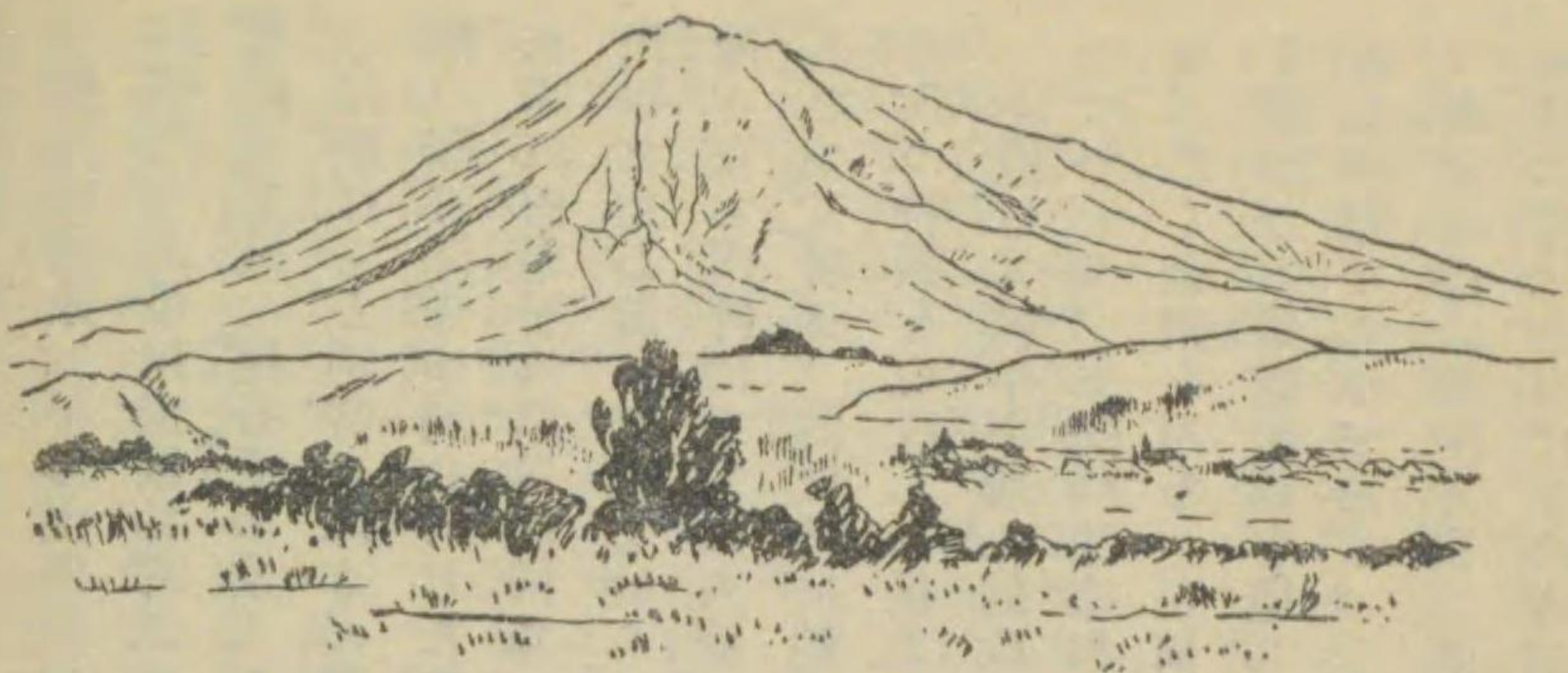
- 一 津輕爲信所用太刀 銘友成作 〔國寶〕
- 一 津輕信壽寄進太刀 銘眞守 〔國寶〕

寶物は舊曆七月二十七日から三日間拜殿に陳列して觀覽せしめて居る。

【岩木山神社】〔國幣小社〕(三一圖) 驛の西一四軒、岩木山麓岩木村百澤にある。社傳によれば寶龜年中岩木山上に鎮祭せしものと云ひ、今も山頂に奥宮を存し當社を下居宮と呼ぶ。津輕氏累代の崇敬篤く社殿の莊嚴華麗なること津輕地方隨一である。今樓門及拜殿は特別保

月二十五日に山開祭があり、同八月十五日には山納祭がある。山開祭より山納祭に至る二十日間は古來御山參詣と稱し登山參拜するものが多い。尙七月二十九日から八月一日に至る三日間は奥宮神賑祭が行はれ登山者が最も多い。もとは齋戒して魚肉を斷つこと七日、白衣を着し、幣帛を捧げ、「懺悔々々、六根懺悔、御山初來、金剛子、一々禮拜、南無歸命頂禮」と唱へ、和するに笛鼓を以てし山頂の神社に參詣したもので、今にその遺風の多少を存して居る。

【岩木山】 青森縣の西部にある火山で、津輕平野の西南に位し、東から見れば美しい圓錐形を呈して富士山に似て居るので津輕富士と稱せられる。山頂には三つの峰がある。北を巖木山、南を鳥海山、中央を岩木山と云ふ。巖木山は外輪山の北部で、舊火口側は急傾斜をなし四〇度に達するが、北側は傾斜二〇度に過ぎない。岩木山は中央火口丘で完全な圓錐形をなし、山頂には火口がなく、全山熔岩より成る塊狀火山である。この山は舊火口の南方に偏して噴出したので外輪山の



山木岩

南壁が破壊せられその熔岩が西南に流れ出して居る。その西南腹に鳥ノ海爆裂火口が生じその西に鳥海山が隆起を示すやうになつた。岩木火山には爆裂火口の址が十一あり、鳥ノ海爆裂火口の東にある種蒔苗代はその一で、底に水を湛へて居る。また岩木山の北にある倉澤も同じく爆裂火口址で深さ一〇〇米、赤倉澤の深

谷はこゝに始まつて居る。山麓は傾斜次第に緩かになり遂に廣大なる裾野となつて居る。

登路 驛から山麓百澤まで約一四軒の間自動車の便がある。百澤には登山者の宿泊する旅館がある。こゝから山頂までは約六軒、登路は概して容易である。岩木山神社の境内左端に登山道の入口がある。杉林を過ぎ、栗、櫻などの疎林の間を登れば處々に鳥居が立つて居る。その上は矮小な灌木帯で、岩木山神社の石標がある。こゝからは谷合の岩場を登る。急傾斜面を行くこと凡そ一軒半で鳥ノ海を右に見て鳥海山との鞍部に出る。そこから石道を右へ急に三〇〇米ばかり登ると山頂に達する。山頂は奇岩林立してその間に岩木山神社奥の宮と休憩小屋がある。山頂からは、東に八甲田の群峰を望み、東北は青森灣から浅虫海岸などが見える。津軽平野は東南弘前市から北に延び北方にかけて見下される。北方には遙に十三湯及津軽半島の諸山を望み、西北には鯉ヶ澤方かえから日本海の碧波が美しく見える。

【嶽温泉】(二圖か2) 驛の西二二軒自動車の便あり、硫黄泉で脂肪過多症、呼吸器系諸病、皮膚病などに効くと云ふ。旅館 西澤、中畑、秋田 外七軒。

【暗門瀧】 驛から西南三〇軒、西目屋村川原平の山中にある。三段になり、その幅四〇米、高さは第一段六米、第二段五米、第三段四米、水勢が激しくて壯觀を呈する。

弘前から東北に向ひ平野の中を進む。途上常に岩木山を左方に見、八甲田山を右方に眺める。岩木川の支流平川、浅瀬石川を渡り川部三哩九に着く。こゝは黒石線及五所川原線の分岐點である。

川部驛 (一圖さ2) 青森縣南津輕郡光田寺村川部
秋田から 一五四軒六一九六哩一
青森から 三二軒二一九哩四

黒石線

川部 黒石間 六軒六一四哩一

黒石驛 (二圖さ2) 青森縣南津輕郡中郷村黒石

川部から 六軒六一四哩一
▽乗合自動車 板留温泉行

【黒石町】 津軽平野の東南部に位し、もと津軽藩の支藩であつた處、農産物の集散が多く行はれ、林檎、米を主とした清酒の産がある。

【中野山公園】(二圖さ2) 驛の東方六軒、山形村南中野にあり、自動車の便がある。昔から紅葉の勝地であつたが、享和三年藩主津輕信寧が諸種のかえでを移植したので一層の美觀を呈するやうになつた。

【温湯温泉】(三圖か2) 驛の東八軒、自動車の便があり、酸性硫黄泉で、脂肪過多症、皮膚病、胃腸病、婦人病、呼吸器病などに効くと云ふ。旅館 古澤。
【板留温泉】(三圖か2) 驛の東一〇軒、自動車の便あり。浅瀬石川に臨み、秋は紅葉が美しい。鹽類泉と硫黄泉あり、皮膚病、痔疾、胃腸病、婦人病などに効き、眼病に特效があると云はれて居る。旅館 丹羽。

【十和田湖黒石口】(二五圖) 黒石驛から十和田湖畔瀧

ノ澤に通ずる約三五軒の山路である。その中、驛から板留温泉まで一〇軒の間は乗合自動車の便がある。それよりは徒歩による。

板留から南に向ひ浅瀬石川に沿うて上り、九軒で西の方大鰐から来る道と合する。それより東に向ひ進むこと五軒で平六の部落に入り、更に東南に折れ行くこと四軒、温川温泉に達する。こゝから五軒で瀧ノ澤峠に至り、始めて湖水を望み二軒半下つて瀧ノ澤に着く。

五所川原線

川部 鱈ヶ澤間 四三軒四―二七哩

川部から岩木川に沿ひ津輕平野の稻田の間を西北に進み、藤崎二軒四、柳五軒八、泊三軒六、陸奥森田二軒三を経て五所川原三哩八に着く。

五所川原驛 (一圖さ2) 青森縣北津輕郡五所川原町

弘前から 二七軒八一―一七哩三
鱈ヶ澤から 二二軒九―一三哩六

と稱する石門は石灰岩の上を被ふ安山岩の海蝕作用を受けたもので幅一米長さ一二米、に及ぶ。

五所川原から西に向つて進み岩木川の鐵橋を渡りこれより幾度となく灌漑用水を横ぎり、木造六軒一に着く。

木造驛 (一圖さ2) 青森縣西津輕郡木造町

川部から 二七軒七一―一七哩二
▽乗合自動車 十三行

【木造町】 弘前より十三に通ずる十三道みちに沿へる標式的の街道町で、米の集散地である。雪中の往來に充てる廂下の通路が昔ながらに完全に保存され利用されて居る。これをこの地方では「こもせ」と云ふ。

【龜ヶ岡石器時代遺蹟】 (二圖さ2) 驛の北一二軒、館岡村龜ヶ岡部落東方の丘陵の中腹、山田川を控へた東南の斜面にある。驛から自動車の便あり。區域は南北三〇〇米に亘り早くから世に知られた遺蹟で嘗て多量の土器を出し、また土偶、石器類、骨角器など

▽乗合自動車 金木行 穂積行

▽旅館 古一

【五所川原町】 津輕平野の中央に位し、津輕米の大集散地で、農業倉庫の設がある。

【小泊】 五所川原から西北三五軒、途中金木で乗り繼いで乗合自動車を通ふ。津輕半島西北部の漁港で柔魚すゐいかの産が多い。その西方に權現崎ごんげん(小泊岬)の奇勝がある。

【權現崎】 小泊の西方に突出すること四軒、この附近には奇岩怪石が屹立し、時には削るが斷崖をなし洞窟または石門を作り、海蝕作用の行はれたことを示して居る。小泊から西進すれば始は凝灰岩を見、次に礫岩を見、また石英粗面岩を見る。岬頭に近き辨天祠のあたりは石英粗面岩の絶壁または島嶼で、阿蘇内ノ澤からは岩石が一變して黑色緻密の玄武岩となり、多少分解した處には玉髓、碧玉または鐵石英を生じて居る、また板狀節理も發達して居る。權現崎は石灰岩及粘板岩が角岩の上に重なり、とゞ穴

各種の出土品がある。土器は津輕式土器、一名龜ヶ岡式土器と呼ばれるもので精巧な製作手法を示して居る。この種の土器は奥羽殊に津輕地方に多く發見せられるが、龜ヶ岡は最も代表的な遺蹟として知られて居る。

木造から西南に向ひ岩木山の裾野に近づき陸奥森田むつもち、鳴澤なるさわを経て西に向ひ、平野を離れ砂丘の間に入り、鳴澤なるさわを過ぎ日本海岸に出で、西南に進んで鱈ヶ澤たがさわに着く。

【床舞石器時代遺蹟】 (二圖さ2) 陸奥森田驛の西約二軒狄ヶ館溜池の北岸及東岸の丘上にある。純然たる津輕式土器を出す遺蹟でその他諸種の遺物が發見された。裾野村十腰内とこしない、十面澤とすらさわなどと共に岩木山北麓に於ける主要なる遺蹟である。更にこゝより西方二軒、山田野丘陵上には多數の堅穴住居址があり、俗に狼穴おうえあなと呼ばれて居る。こゝから南方三軒の鳴澤村建石の大平野にも堅穴住居址がある。

鯨ヶ澤驛

(二圖さ2) 青森縣西津輕郡舞戸村
川部から 四三軒四一二七哩

▽乗合自動車 深浦行

▽旅館 竹谷旅館

【鯨ヶ澤町】 青森縣西岸の要港をなし、もと津輕米の積出港として榮えた處で、今は北海道との間に取引が行はれ、また水産業が盛である。こゝにも廂下の通路が利用されて居る。それを「こみせ」と云ふ。

【大戸瀬】(二圖さ2) 驛の西南一八軒にある岬角で、ここには凝灰岩の海蝕を受けた平坦になつた岩盤が江戸時代の末期に隆起して海上に現はれて居る。これを千疊敷と稱する。

【深浦港】 青森縣西岸の漁港で、鯨ヶ澤から三六軒の間自動車の便がある。凝灰岩の間に穿れた小灣で風景に富む。

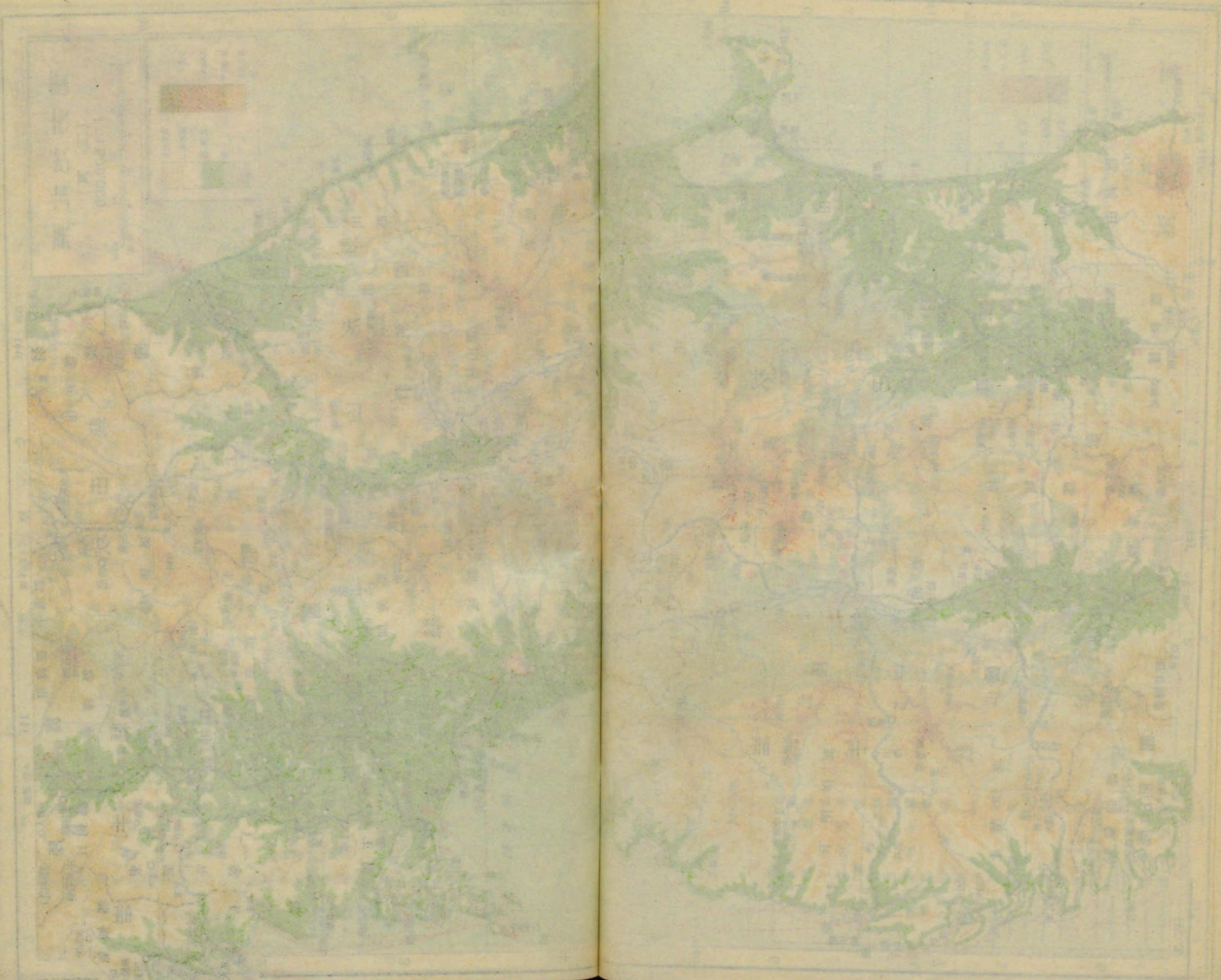
川部から東北に向ひ黒石線を右に見て平野の間を進む。右方には八甲山の火山群、左方には岩木山が美し

く眺められる。北常盤^{きたとまわ}二^三軒^二を過ぎ、丘陵に近づいて浪岡^{なみのか}三^五軒^八に着く。

これより津輕平野を離れ、山間に入り大釋迦^{だいしゃか}五^三軒^二を過ぎ東北に折れ、雪覆^{スノーシエッド}及トンネルを経て、鶴ヶ坂の分水界(海拔二六米)を越え、陸奥灣の斜面に出る。山地を離れる處で津輕新城^{つがるしんじょう}七^一軒^六を過ぎ東に折れて青森平野に出で北に轉じて青森^{あおもり}三^五軒^八に着く。

【津輕新城スキー場】 津輕新城驛の東方平岡山附近一帶の丘陵には隨所に好斜面がある。初心者^{だいきん}の練習に適しまた青森から短時間で往復が出来るので、主にこの方面のスキー家で賑つて居る。





索引

一 この索引は地名を五十音順に配列した。

二 地名の下には本文中その地につき記事を載せた頁を示した。

三 地図の中の位置を捜すために番號の下に地図にある草色方眼の縦の鍵(平假字)及横の鍵(數字)を示した。



ア 一頁
 イ 三
 ウ 五
 エ 六
 オ 六
 カ 九
 キ 三
 ク 三
 ケ 三
 コ 三
 サ 五
 シ 七
 ス 九
 セ 九
 ソ 三
 タ 三
 チ 三
 ツ 三
 テ 三
 ト 三
 ナ 五
 ニ 七
 ノ 六
 ハ 九
 ヒ 三
 フ 三
 ヘ 三
 ホ 三
 マ 三
 ミ 三
 ム 三
 メ 三
 モ 三
 ヤ 五
 ユ 六
 ヨ 七
 ラ 七
 リ 七
 ル 六
 レ 三
 ロ 三
 ワ 六

い 三頁
 ろ 三
 は 三
 に 七
 ほ 三
 へ 三
 と 三
 ち 三
 り 七
 ぬ 六
 る 六
 お 六
 わ 六
 か 九
 よ 七
 た 三
 れ 三
 そ 三
 つ 三
 ね 六
 な 五
 ら 七
 む 三
 う 五
 の 六
 く 三
 や 五
 ま 三
 け 三
 ふ 三
 こ 三
 え 六
 て 三
 あ 一
 さ 五
 き 三
 ゆ 六
 め 三
 み 三
 し 七
 ひ 三
 も 三
 せ 九
 す 九

ア

アイズセン(會津線)……………^{三五一}頁
 タカタ(會津高田)驛……………^一た5
 ヌリ(會津塗)……………^{三四七}
 バンダ(會津坂下)驛……………^一た5
 ヒノクチ(會津樋ノ口)驛……………^一た5
 ホンゴウ(會津本郷)驛……………^一た5
 ヤナイズ(會津柳津)驛……………^一た5
 ワカマツ(會津若松)驛……………^一さ5
 アイノノ(相野々)驛……………^一さ3
 アオソジンジャ(青麻神社)……………^一二四
 アオネ(青根)温泉……………^八八
 アオバジヨウシ(青葉城址)(仙臺城址)……………^{二〇九}二さ4
 ジンジャ(青葉神社)……………^一二二
 ヤマ(青葉山)……………^一二一
 アオモリ(青森)驛……………^一八五
 市……………^一八六

アカイ(赤井)驛……………^一さ5
 アカイシ(赤石)鑛山……………^一四六
 アカイダケ(赤井岳薬師堂)……………^九二さ5
 アカイワ(赤岩)驛……………^一さ5
 アカイヤジ(赤井谷地)……………^二四四
 アカラ(赤倉)温泉……………^二一八
 アカサカタ(赤坂田)驛……………^二九三
 アカサキヤマ(赤崎山)スキー場……………^三五
 アカダテシ(赤館址)(西山城址)……………^八五
 アカタニ(赤谷)線、驛……………^二六三
 鑛山……………^二六三
 アカユ(赤湯)温泉(宮城縣)……………^三一六
 アカユ(赤湯)驛、温泉……………^三〇一
 アキウ(秋保)温泉……………^九三
 アキタ(秋田)驛、市……………^三三四
 音頭……………^三三五
 城址……………^三三八
 路……………^三三五

アキタ(秋田)萬歳……………三三六
 // 製油所……………二八六
 アキタシビヨウ(秋田氏廟)……………七三
 アキタテツドウ(秋田鐵道)……………二九四
 アキノミヤ(秋宮)の桂華……………三三三
 アキワヤマ(秋葉山)……………三六〇
 アコガシマ(安子ヶ島)驛……………一三三
 アサカクニツコジンジャ……………一三五

(安積國造神社)

アサカヤマ(安積山)……………七四
 アサヒ(朝日)鑛泉……………二〇二
 // ダケ(朝日岳)……………二〇二
 アサマイ(淺舞)町……………三三四
 アサムシ(淺虫)驛、水族館、温泉一八四……………一三二 三か二
 アジガサワ(鯨ヶ澤)町、驛……………三〇八……………一三二 三三三
 アシサワ(蘆澤)驛……………一三四
 アシナモリウジハカ……………一三四
 (蘆名盛氏墓)……………二四八……………二四六
 アシノマキ(蘆ノ牧)温泉……………二五一……………三三五

アナバラ(穴原)温泉……………八三……………三か五
 アニアイ(阿仁合)町……………二九三……………三三五
 アニ(阿仁)鑛山……………二九三……………三三六
 アベタテシ(安倍館址)厨川柵址(一)……………一三三
 アマルメ(余目)驛……………一三九……………一三四
 アミハリ(網張)温泉……………二五九……………三あ三 一四わ六
 アユカイ(鮎貝)驛……………一三四……………一三四
 アユカワ(鮎川)驛……………一三三……………一三四
 アラカワ(荒川)鑛山……………三三三……………三三三
 アラト(荒砥)驛……………一三四……………一三四
 アラヤ(新屋)驛……………一三四……………一三四
 // シンマチ(荒屋新町)驛……………一三二……………一三二
 アラハマ(荒濱)……………一〇五……………一三四
 アラユ(荒湯)温泉(鬼首)……………一三七……………三か四
 アリカベ(有壁)驛……………一三四……………一三四
 アリト(有戸)驛……………一三四……………一三四
 アンドウインウラコフンゲン……………一三四……………一三四
 (安洞院裏古墳群)……………八〇……………一三四
 アンモンタキ(暗門瀧)……………三〇五……………二さ二 三三三 三四

アジャカネジンジャ

(阿邪訶根神社)……………七一……………五た二
 アズマサン(吾妻山)……………一九二……………一八 三た五
 // ジンジャ(吾妻神社)……………一九二……………一八や四
 アズマフジ(吾妻富士)……………一九二……………一八な四
 アゾウ(麻生)石器時代遺蹟……………二九三……………二さ二
 アダタラサン(安達太良山)……………七六……………三た六
 // ジンジャ(安達太良神社)七四……………一三五
 アダチ(安達)驛……………一三五
 アダチガハラクロツカ……………一三五

(安達原黒塚)

アタミ(熱海)温泉……………二九九……………三か五
 アツカシヤマ……………二九九……………三か五
 (阿津加志山、厚樫山)……………二五六……………二さ五
 アツシオ(熱鹽)温泉……………二五五……………三三五
 アツミ(温海)驛、温泉、海水浴場三六九……………一た四 三三三
 アテラク(當樂)の楓林……………一四五……………二さ三
 アテラザワ(左澤)驛……………二二四……………一三四
 アナダイラ(穴平)……………一七一……………二か二

イ

イイサカ(飯坂)温泉……………八一……………一三五 三か五
 イイズメ(飯詰)驛……………一三四……………一三四
 イイデヤマ(飯豊山)……………二五五……………三三三
 イイノハチマンゲウ(飯野八幡宮)平(九七)……………二五〇……………二四か二
 イイモリヤマ(飯盛山)……………二五〇……………二四か二
 イオウジ(醫王寺)……………八三……………一八か二
 イガシマ(五十島)驛……………一三四……………一た五
 イカリガセキ(碓ヶ關)驛、温泉三九八……………一三二 三か二
 イケヅキ(池月)驛……………一三四……………一三四
 イサザワ(伊佐澤)の久保櫻……………二〇三……………二さ四 三た四
 イサスミジンジャ(伊佐須美神社)三三三……………二た五
 イザワジョウシ(膽澤城址)……………一四三……………二か三
 イシカワ(石川)驛……………一三四……………一三四
 // 町……………六四……………四あ一 三た七
 // 山……………六四……………三

イシコシ(石越)驛……………一三六
イシドリヤ(石鳥谷)驛、一里塚二五……………一か三三三七
イシノマキ(石巻)……………

海水浴場二三、二三

イシノモリ(石森)驛……………一か4
イシワリザクラ(石割櫻)……………一三三
イズミ(泉)驛……………一三六
イズミガダテシ(泉ヶ館址)……………一三九
イズミガサキ(泉崎)驛……………一三九
イズミサワマガイブツ……………一三五
(泉澤磨崖佛)……………一〇二
イズミシヨウジクヨウヒ……………二三五

(和泉莊司供養碑)……………七二

イズミタ(泉田)驛……………一三四
イタドメ(板留)温泉……………三〇五
イタヤ(板谷)驛……………一九四
イタヤナギ(板柳)驛……………一三五
イチノセキ(一ノ關)驛、町……………一三九
イチノヘ(一戸)驛……………一六五

イワキタナクラ(磐城棚倉)驛……………一三五
トキワ(磐城常葉)驛……………一三五
イワキリ(岩切)驛……………一三四
イワサワ(岩澤)驛……………一三四
イワシロアタミ(岩代熱海)驛……………二三九

イイノ(岩代飯野)驛……………一三五
カワマタ(岩代川俣)驛……………一三五
イワセモリ(岩瀬森)……………一三七
イワダテ(岩館)驛……………一三二
イワテケイベンテツドウ……………一三二

(岩手輕便鐵道)……………一四八

イワテサン(岩手山)……………一六一
ジンシヤ(岩手山神社)六一……………一四六
イワテフツカマチ(岩手二日町)驛……………一三三
マツオ(岩手松尾)驛……………一三三
イワデヤマ(岩出山)驛……………一三四
イワヌマ(岩沼)驛、町……………一九三
イワネバシ(岩根橋)驛……………一三三
イワフネ(岩船)町……………一三四

イチリズカ(一里塚)(石鳥谷)……………一五二
イツチヨウボトケ(一町佛)……………一六四
イナズミ(稻住)温泉……………一三三
イナワシロ(猪苗代湖)……………一三五
驛、城址……………一四二

驛、城址……………一四二

イヌカワ(犬川)驛……………一三四
イマイズミ(今泉)驛……………一三四
イマイタ(今板)温泉……………一三六
イマガミ(今神)温泉……………一三七
イミジノ(五十公野)驛……………一三五
イママツ(今松)竪穴住居址……………一六五
イラガワ(五十川)驛……………一六五
イワイズミ(岩泉)の石灰洞……………一七一
イワガサキ(岩ヶ崎)驛……………一三四
イワキオウタ(磐城太田)驛……………一〇三
タンコウ(磐城炭坑)……………一三五
イワキサン(岩木山)……………一〇三
ジンジャ……………一三三
(岩木山神社)……………一〇二

イワヤカンノン(岩谷観音)……………一八〇
ダイブツ(岩屋大佛)……………一六六
イワヤドウジヨウシ(岩屋堂城址)二四……………一三四
インナイ(院内)驛、鑛山……………一三三

ウ

ウエスギケビヨウ(上杉家廟)……………一九六
ジンジャ(上杉神社)……………一九七
ウエダ(植田)驛……………一三六
ウエツ(羽越本線)……………一六一
ウゴイワヤ(羽後岩谷)驛……………一三三
ウシジマ(羽後牛島)驛……………一三三
オウモリ(羽後大森)驛……………一三三
カメダ(羽後龜田)驛……………一三三
サカイ(羽後境)驛……………一三三
サトミ(羽後里見)驛……………一三三
シノノメ(羽後東雲)驛……………一三二

ウゴナガノ(羽後長野)驛……………一さ3
 // ヒラサワ(羽後平澤)驛……………二六四 一た3
 // ホンジヨウ(羽後本莊)驛……………二八四 一さ3
 // ヨツヤ(羽後四ツ屋)驛……………一さ3
 ウスギヌ(薄衣)驛……………一か4 三か2
 ウズミネジヨウシ

(宇津峯城址)雲水峯……………六 二さ5 三た6
 ウゼンオウヤマ(羽前大山)驛……………二七〇 一た4
 // コマツ(羽前小松)驛……………一さ5
 // タカマツ(羽前高松)驛……………一さ4
 // トヨサト(羽前豊里)驛……………三三 一さ4
 // ナガサキ(羽前長崎)驛……………一さ4
 // ナリタ(羽前成田)驛……………一さ4
 // ミヅサワ(羽前水澤)驛……………一た4
 // ムカイマチ(羽前向町)驛……………一さ4
 // ヤマベ(羽前山邊)驛……………一さ4
 ウトウジンジャ(善知鳥神社)……………一八六 一六ま5
 ウネクラ(卯根倉)鑛山……………一四五
 ウバユ(姥湯)温泉……………一九五 三か5 一八ま3

ウモレギザイク(埋木細工)……………一〇八
 ウルシヤマ(漆山)驛……………一さ4
 ウラマチ(浦町)驛……………一さ2

エ

エズリコ(江釣子)驛……………一か3
 エナ(江名)驛……………一か6
 エニチジ(恵日寺)(四ツ倉)……………一〇〇
 // (大寺)……………二四五 二た5 三な6
 エチゴカンガワ(越後寒川)驛……………一た4
 // ハヤカワ(越後早川)驛……………一た4
 エンジユジ(圓壽寺)の供養碑……………七 五な7
 エンダ(圓田)驛……………一さ4
 エンメイジ(延命寺)……………二四 三な6

オ

オイタマ(置賜)驛……………一た5

オイラセガワ(奥入瀬川)……………一七三 二か2 一五か1 三さ4
 オイワケ(追分)驛……………二八七 一さ3 三な6
 オウアラサウ(大荒澤)驛……………一四 一さ3
 オウイシダ(大石田)驛……………二二六 一さ4 三た3
 オウウホンセン(奥羽本線)……………一九一 一さ3
 オウウラハチマンダウ

(大浦八幡宮)

……………三〇一 三さ6
 オウオカ(大岡)驛……………一か4
 オウカマ(大釜)驛……………一か3
 オウガユ(大萱生)鑛山……………一五 一か3
 オウカワラ(大河原)驛……………八八 一さ4 八あ4 三さ4
 オウギタ(扇田)驛……………一さ2
 オウクニタマジンジャ

(大國魂神社)

……………九六
 オウクボ(大久保)驛……………二九一 一さ3 三な6
 オウコエ(大越)驛……………一さ5
 オウコクセン(横黒線)……………一さ3
 オウサキハチマンジンジャ

(大崎八幡神社)

……………二二 九わ3 一〇や4

オウサワ(大澤)驛……………一さ5
 // 温泉……………一四八 一か3 三あ3
 オウジンシヤ(王子神社)……………七四 二さ5
 オウシユク(鶯宿)温泉……………一五 三か3
 オウシヨウテツドウ(横莊鐵道)三四
 オウタカサワ(大鷹澤)
 球狀閃綠岩産地 八七……………二さ5
 オウタカモリ(大鷹森)……………三一 一〇か2 一た4
 オウタカヤマジンシヤ

(大高山神社)

……………八八
 オウタキ(大瀧)温泉……………二九四 一さ2 三か2
 オウタキネヤマ(大瀧根山)……………七三 三さ6
 オウタジンシヤ(太田神社)……………一〇三
 オウダテ(大館)(盛岡)……………一五
 // 驛、町……………二九三 一さ2 三た5
 オウデラ(大寺)驛、製鍊所……………二四 一た5
 オウトセ(大戸瀬)……………三〇八 二さ2
 オウトリジヨウシ(大鳥城址)……………八三 一八か1
 オウヌマ(大沼)の浮島……………二四 二さ4

オウノ(大野)驛……………一さ5
 オウハシ(大橋)驛……………一か3 三か8
 オウハタ(大畑)驛……………一か3
 オウブケ(大更)驛……………一か3
 オウフナド(大船渡)線……………一三三
 オウホリ(大堀)の相馬焼……………一〇一
 オウマガリ(大曲)驛、町……………一さ3 三た7
 オウマツ(大松)驛……………一か3
 オウミナト(大湊)線……………一八一
 オウミネヤマ(大峰山)の櫻……………二六四
 オウモノイミジンジャ……………
 (大物忌神社)……………二七九 二さ3 三か2
 オウモリジヨウシ(大森城址)……………八一
 オウヤマズミジンジャ……………
 (大山祇神社)……………二七〇 二た5
 オウヤマ(大山)町……………二七〇 三な2
 オウユ(大湯)温泉……………二九四 一さ2 三か2
 オウヨウコウエン……………
 (鷹揚公園)弘前城址……………三〇〇 三〇な3

オウワニ(大鰐)驛、温泉、スキー場……………一さ2 三か2
 オガハントウ(男鹿半島)……………二八九
 オカマジジンジャ(御釜神社)……………二一八
 オガワゴウ(小川郷)驛……………一さ5
 オキナジマ(翁島)驛、温泉……………一さ5 三か5
 オギノ(萩野)驛……………一た5
 オキノシマ(沖ノ島)海水浴場……………二八四
 オクナカヤマ(奥中山)驛……………
 オグニユデン(小國油田)……………二八四
 オグラトヨカワユデン(小倉豊川油田)……………二九二
 オグログサキ(小黑ヶ崎)……………二五五 二さ4
 オサリザワ(尾去澤)鑛山……………二九五 一さ2 三た5
 オジマ(雄島)頼賢碑……………二二〇 一や3
 オソレサン(恐山)……………二八三 一か1 三あ1 三さ1
 // ジゾウドウ(地藏堂)……………二八三 二か1
 オダカ(小高)驛、町……………二〇一 一さ5 三さ6
 // ジンジャ(小高神社)……………二〇二
 オツダキ(乙字瀧)……………二六六 二さ5
 オツタテ(押立)温泉、スキー場……………二四四 三か5 三た5

カ

オットモ(乙供)驛……………一か2
 オツポウジ(乙寶寺)……………二六四 二た4
 オド(小戸)の七瀧……………二六三 二た5
 オトベ(乙部)の枝垂桂……………二五九 二か3 三さ7
 オナガワ(女川)驛……………一か4
 オナハマ(小名濱)驛、町……………二六六 二さ6 三さ7
 オニコウベ(鬼首)間歇温泉……………二七〇 二さ4
 オノガワ(小野川)温泉……………一九九 三か5
 オノシンマチ(小野新町)驛……………一さ5
 オバナザワ(小花澤)驛……………一さ4
 オハナジ(小花地)……………二五九 二た5 三は5
 オハラ(小原)温泉……………二八七 二さ4 三か5
 オハラギ(小原木)の大理石……………二五三
 オボナイ(生保内)線、驛……………二六六 一さ3 三た6
 オモシロヤマ(面白山)……………二二一 三さ3
 オヤクエン(御薬園)……………二四四 二た5
 オヤマカンノン(御山観音)……………一六六 二か2
 オヤマダ(小山田)の櫻……………二五九 二た5
 オリカベ(折壁)驛……………一三三 一か4

オンナリアナ(音鳴穴)氣仙沼町……………二二三
 カイシウ(海味)驛……………一さ4 三た3
 カイセイザンコウエン……………
 (開成山公園)……………二七〇 二さ5 五や3
 カイラクコウエン(偕楽公園)……………二〇一 二さ4
 ガガ(峩々)温泉……………二八九 三か4 八は2
 カガミイシ(鏡石)驛……………一さ5
 カクダ(角田)驛……………一さ5
 カクノダテ(角館)驛、町……………二六六 一さ3 三た7
 // の白枝垂櫻……………二三七
 カケヤマ(佳景山)驛……………一か4
 カサイジヨウシ(葛西城址)日和山……………二二三
 カジ(加治)驛……………二六三 一た5
 カシ(甲子)温泉……………二五五 二さ5 三か5
 カジカワズツミ(加治川堤)の櫻……………二六三 二た4
 カシマ(鹿島)驛……………一三三 一さ5

カシマジンジャ(鹿島神社)……………三
 // ダイ(鹿島臺)驛……………一三
 // 神社……………一三
 ガタヌマ(湯沼)……………一三
 カツギ(勝木)驛……………一六
 ガツサン(月山)……………二二
 カツタミネジンシヤ(刈田嶺神社)八八……………二二
 ガツポコウエン(合浦公園)……………一七
 カツラシマ(桂島)海水浴場……………二二
 カド(鹿渡)驛……………一三
 カナイ(金井)驛……………一四
 カナザワサクシ(金澤棚址)……………二二
 カナズカ(金塚)驛……………一四
 カナヤガワ(金谷川)驛……………一五
 カナヤマオドリ(金山踊)……………一六
 カナヤマ(銀山)鑛泉……………二二
 カナヤマサワドウトクツ(金山澤洞窟)二七〇……………三三
 カニノユ(蟹湯)温泉……………三三
 カネガサキ(金ヶ崎)驛……………一四

カノセ(鹿瀬)驛……………一五
 カノマタ(鹿又)驛……………一四
 カバビ(樺火)(盛岡)……………一五
 カプトズカ(甲塚)古墳……………一六
 カブシマ(燕鳥)……………一七
 カマイシ(釜石)鑛山、鐵道線……………一八
 // 町……………一五
 カマサキ(鎌先)温泉……………一七
 カマブチ(釜淵)驛……………一八
 カミダキ(神瀧)温泉(鬼首)……………一七
 カミナカシンデン(加美中新田)驛……………一八
 カミノジリ(上野尻)驛……………一七
 カミノハシ(上ノ橋)(盛岡)……………一八
 カミノヤマ(上ノ山)驛、町、温泉二〇四……………一四
 カミヘイゲン(上閉伊郡)宝物館……………一五
 カミモリ(上三寄)驛……………一五
 カミモリオカ(上盛岡)驛……………一三
 カミヨナイ(上米内)驛……………一三

カミヨナイ(上米内)石器時代遺蹟一五……………二
 カメオカ(上米内)石器時代遺蹟三〇七……………二
 (龜岡文珠堂)……………二
 カメガオカ(龜ヶ岡)石器時代遺蹟三〇七……………二
 カメガサキ(龜ヶ岡)……………二
 (龜ヶ崎城址)……………二
 ガモウウジサトハカ……………二
 // ヒデユキハカ……………二
 (蒲生秀行墓)……………二
 カラマツカンノン……………二
 (唐松觀音)釋迦堂……………二
 カラメジヨウシ……………二
 (搦城址)(白河古城)……………二
 カリカワ(狩川)驛……………二
 カリジマコウエン(雁島公園)……………二
 カリバザワ(狩場澤)驛……………二
 カリヤドハイジシ(借宿廢寺址)畜……………二
 カリワノ(刈和野)驛……………二

カワウツ(河内)……………二
 カワカミ(川上)温泉……………二
 カワグチ(川口)驛……………二
 カワゲタ(川桁)驛……………二
 カワタビ(川渡)驛、温泉……………二
 カワツラ(川連)の塗器……………二
 カワベ(川部)驛……………二
 カワマエ(川前)驛……………二
 カワマタ(川俣)線、町……………二
 カワムラズイケンソウコシ……………二
 (河村瑞軒倉庫址)……………二
 カワラ(河原)温泉……………二
 ガンガラ洞……………二
 カンデンキコウヒ(灌田紀功碑)二〇一……………二
 カントウ(竿燈)……………二
 カンプウザン(寒風山)……………二
 カンマタ(神俣)驛……………二
 カンマンジュジ(干満珠寺)……………二
 カンランテイ(觀瀾亭)……………二

キ

キクタ(喜久田)驛……………一さ5
 キサカタ(象潟)……………一さ5
 驛、海水浴場三三、三六四……………一た3 二た3
 キズクリ(木造)驛、町……………三〇七……………一さ2 三た3
 キタウラ(北浦)驛……………一か4
 キタカタ(喜多方)驛、町……………二五、二五……………一た5 三た6
 キタシラカワ(北白川)驛……………一さ4 八か5
 キチジョウイン(吉祥院)……………二〇八……………二さ4
 キタタカイワ(北高岩)驛……………一か2
 キタトキワ(北常盤)驛……………一さ2
 キタナルシマビシヤモンドウ……………一か2
 (北成島毘舍門堂)二四……………二か3
 キタフクオカ(北福岡)驛……………一六六……………一か2
 キタヤマガタ(北山形)驛……………一さ4
 キタヨシマ(北好間)驛……………一さ5
 キド(木戸)驛……………一さ5

ク

キミマチザカ(俣后坂)……………二九二……………二さ2
 キユウチドウカンシ(舊致道館址)三三……………三た4
 キヨカワ(清川)驛……………三〇……………一さ4 三た1
 八チロウハカ(清川八郎墓)……………二さ4
 キヨウゾウ(經藏)(中尊寺)……………二六
 キリンザン(麒麟山)……………二五……………二た5
 キンカザン(金華山)……………一三……………二か4 三あ4
 キンシユウジ(金秀寺)笠塔婆……………八三
 キンダイチ(金田一)驛……………一か2 三さ5

クサカイ(區界)驛……………一か3
 クサナギ(草薙)鑛泉……………三〇……………三か4
 クサノ(草野)驛……………一か5
 クジ(久慈)町……………一七一……………一か2 三か5
 製鐵所……………一七一
 クシビキハチマンゲウ……………一七
 (櫛引八幡宮)……………一六……………二か2

クタノ(久田野)驛……………一さ5
 クツカケ(沓掛)の石灰洞……………一四
 クニミ(國見)温泉……………一五……………三か3 二あ3
 クボザクラ(久保櫻)……………二〇三……………二さ4
 クマノオクテルジンジャ……………一
 (熊野奥照神社)……………三〇か2
 〃 ジンジャ(熊野神社)……………九三……………二た4
 の經塚一四
 クラダテ(藏館)温泉……………二九八……………三か2
 クリコ(栗子)トンネル……………一九八……………三か4
 クリコマゴトウ(栗駒五湯)……………二七……………三か4
 〃 ヤマ(栗駒山)……………三〇……………三さ2
 クリヤガワ(厨川)驛……………一か3
 〃 サクシ(厨川柵址)……………一五……………二か3 一三ま2
 クレツボ(暮坪)の立石……………二七〇……………二た4 三た2
 クロイシ(黒石)線、驛、町……………三〇五……………一さ2 三た4
 クロイワコクゾウ(黒岩虚空藏)八〇……………一三
 クロカワユデン(黒川油田)……………二八七……………三た6
 クロサワ(黒澤)驛……………一さ3

ケ

クロサワジリ(黒澤尻)驛……………一四……………一か3 三さ8
 クロユ(黒湯)温泉……………三三……………三か3 二あ2
 クルスバ(くるす場)……………一四
 クワガワ(桑川)驛……………二六……………一た4 三た6

ケイカタイ(珪華堆)(恐山)……………一八二……………二か1
 ケイビケイ(猊鼻溪)……………一三……………二か4
 ケセンヌマ(氣仙沼)町……………一三……………一か4 三あ2
 ゲトウ(夏油)温泉……………一四……………三か3
 ケマナイ(毛馬内)驛……………一三……………一さ2
 ゲンビケイ(嚴美溪)……………一五……………二さ4
 ゲンブドウ(玄武洞)……………一五……………二さ3
 ケンヨシ(劍吉)驛……………一か2

コイワイ(小岩井)驛……………一か3

コイワイノウジヨウ(小岩井農場)二九〇……………二さ3
 コウマ(好摩)驛……………一六四……………一か3
 コウキユウジンジャ(光丘神社)三七七……………二七た3
 コシンケイギヨクハカ(孝子慶玉墓)三六九
 コウジヤクガイワヤ(蒿雀窟)二九〇……………二た3 二元は9
 コウゾウジ(高藏寺)……………九一……………二さ5
 コウリ(桑折)驛、鑛泉……………八五 一さ5 三か5 三さ5
 コウリヤマ(郡山)驛、市……………充……………一さ5 五三た6
 明治天皇行在所……………七一
 コガイクニツジンジャ
 (蠶養國神社)……………二四八……………二四な2
 コガネヤマジンジャ
 (黄金山神社)(黄金宮)二三……………二か4
 (金華山)二三……………二か4
 コガネドウ(黄金堂)……………二七四
 コクブンジシ(國分寺址)(陸奥)二三……………二か4 一〇ま5
 コグワ(蠶桑)驛……………一さ4
 コクワクラジンジャ(子歛倉神社)九七
 コゴタ(小牛田)驛、町……………一三三……………一か4 三か3

コノウラ(金浦)驛……………一た3
 コヒラガタテンジン
 (小平湯天神)三四……………三き6
 コマガダケ(駒ヶ岳)……………二三〇……………三か3 三た6
 コマガタジンジャ(駒形神社)……………二四三……………二か3
 コマツ(小松)町……………二〇〇……………一さ4 三た4
 コマノユ(駒ノ湯)温泉……………二七……………三か4
 コミナト(小湊)驛……………一八四……………一さ2 三た3
 コミネジヨウシ(小峰城址)……………六一
 コヤ(小谷)温泉……………二五二……………三さ5
 コユキサワ(小雪澤)驛……………一さ2
 コヨシ(子吉)驛……………一さ3
 コレカワ(是川)石器時代遺蹟……………一七〇
 コロモガワタテシ(衣河館址)……………二九……………二か3 三か1
 ゴンゲンザキ(権現崎)……………三〇六……………二さ1 三な2
 コンジキドウ(金色堂)……………一三三……………一た4
 コンポンチユウドウ
 (根本中堂)(山寺)……………二〇八……………二さ4

コサカ(小坂)驛、町、鑛山……………二九六……………一さ2 三た5
 コサカテツドウ(小坂鐵道)……………二九五
 コサガワ(小砂川)驛、海水浴場三八三……………一さ3
 ゴサンネン(後三年)驛、スキー場三五……………一さ3
 コシオウジンジャ
 (古四王神社)(秋田)……………二三八……………二さ3
 (大曲)……………二三六……………二さ3
 ゴシキ(五色)温泉、スキー場……………二九四……………三か5 一八は2
 ゴシキヌマ(五色沼)スケート場二一
 ゴジヨウノメ(五域目)驛……………一さ3 三な6
 ゴシヨガラ(五所川原)線、驛、町三〇六……………一さ2 三た3
 コスゴウ(越河)驛……………一さ5
 コズヤ(小鳥谷)驛……………一か2
 コセキ(古關)驛……………一さ5
 ゴセン(五泉)驛、町……………二五九……………一た5
 ゴダイドウ(五大堂)……………一九……………二か3 一や3
 コツナギ(小繫)驛……………一か2
 コトガウラ(琴ヶ浦)海水浴場……………二八四……………二た3
 コトマリ(小泊)……………三〇六……………一さ1 三な2

サ

サイコウジ(西光寺)……………二五七……………二た5
 サイシヨウイン(最勝院)……………三〇一……………三〇た6
 サイホウジ(西方寺)(毘舍門堂)六五……………二か2
 ザイモクイワ(材木岩)……………八七……………二さ5
 サエノカミ(佐倍之神)(道祖神社)九三……………二さ4
 ザオウサン(藏王山)……………八九……………八は2 三さ4
 スキー場……………九〇
 サカイシルイダイノハカ
 (酒井氏累代墓)……………二七三
 サカイダ(堺田)驛……………一さ4
 サカイミヨウジンジャ(境明神社)三……………四ま3
 サガエ(寒河江)驛……………一さ4 三た3
 サカタ(酒田)驛、町……………二七五、二七六……………一た4 二七 三な2
 城址(龜ヶ崎城址)……………二七七……………二た4
 (おぼこ節)……………二七七
 マツリ(酒田祭)……………二七七

サカマチ(坂町)驛……………三六 ……一た4 三三な4
 サカモト(坂元)驛……………一三五 ……一か3 三三か8
 サカリ(盛)町……………一三三 ……三あ1
 // 附近石器時代遺跡……………一三三
 サグエジンジャ(佐具叡神社)……………九三
 サクナミ(作並)温泉……………一四 ……一さ4 三か4
 サクラガオカコウエン
 (櫻岡公園)……………一〇 ……九ま6
 サゴシ(砂越)驛……………一た4
 サザエドウ(榮螺堂)……………二五二 ……二四か2
 ササカワ(笹川)驛……………一さ5
 // ナガレ(笹川流)……………二六 ……二た4
 ササキノ(笹木野)驛……………一さ5 一八か3
 ササノカンノン(笹野観音)……………一九九
 サシセンコウエン(佐氏泉公園)……………一九か4
 サシマキ(刺巻)驛……………一さ3 二さ5
 サチウ(幸生)鑛山……………二二三 ……三た3
 サトウシンエン(佐藤信淵)生地……………三三
 サヌマ(佐沼)驛……………一か4

シ

シオガシマ(汐ヶ島)の
 ガンガラ洞と七ツ池……………二た2
 シオガマ(鹽釜線、驛、町)……………一六 ……一か4 三三か4
 // ジンジャ(鹽竈神社)……………一六 二か4 一〇な3 二わ5
 シオカワ(鹽川)驛……………一た5
 ジオンジ(慈恩寺)……………二二 ……二さ4
 シゲナイ(茂内)驛……………一さ2
 シ、オドリ(獅子踊)弘前……………三〇〇
 シズクイシ(雫石)驛……………一さ3
 シタザキ(舌崎)石器時代遺蹟……………一七
 シチヒヤク(七百)驛……………一か2
 シドタイ(志戸平)温泉……………一四 ……一さ3 三か3
 シノブタカユ(信夫高湯)……………一五 ……三か5
 シノブヤマ(信夫山)……………八〇 ……一八あ3
 シノブヤマコウエン(信夫山公園)……………一八あ3
 シバジヨウシ(志波城址)日詰町……………二五 ……二か3

サネカタチユウジヨウハカ
 (實方中將墓)……………九
 サメ(鮫)驛……………一か2
 サメカワ(鮫川)上流地方地質……………六
 サルクラ(猿倉)温泉……………一七あ7
 サルマ(猿間)鑛山……………二九四
 サワムラカツタメハカ
 (澤村勝爲墓)……………六
 サワメ(澤目)驛……………一さ2
 サンキヨソウコ(山居倉庫)……………二七六
 サンサオドリ(さんさ踊)……………一五
 サンサシグレ(さんさ時雨)……………一〇八
 サンジヨウキチジノブタカタクシ
 (三條吉次信高宅址)……………一五
 サンゼ(三瀬)驛……………一た4
 サンドグリ(三度栗)……………二六一
 サンノヘ(三戸)驛……………一か2
 サンボンギ(三本木)驛……………一七三 ……一か2 三三か4

シバタ(新發田)驛、町……………三六 ……一た5 三三は5
 シブクロ(澁黒)温泉……………三三 ……三か3
 // 毒瓦斯……………三一
 シモウチザワ(下内澤)温泉……………二九七 ……三か2
 シモダ(下田)驛……………一か2
 シモノハシ(下ノ橋)盛岡……………一五 ……一三か6
 シモハマ(下濱)驛、海水浴場……………二八五 ……一さ3 二さ3
 シモプロ(下風呂)温泉……………一八三 一か1 三あ1 三三か1
 シヤカドウ(釋迦堂)唐松観音……………二〇七
 ジヤノハナボタンエン
 (蛇ノ鼻牡丹園)……………七四 ……二さ5
 ジユウサンモリ(十三森)古墳群……………一八〇
 ジユウモンジ(十文字)驛……………三三 ……一さ3
 ジョウギ(定義)温泉……………一四 ……三か4
 ショウゲンイン(勝源院)の逆櫛……………一三
 ジョウコ(上戸)驛……………三九 ……一さ5 三三か7
 ショウジヨウジャクシドウ
 (勝常寺薬師堂)……………三三 ……二た5 三三な6
 ジョウドハマ(浄土濱)……………一六〇 ……二あ3

シヨウナイジンジャ(莊内神社)三三三
 // サキユウ(莊内砂丘)三三三
 ジョウネンジン(常念寺)(鶴岡)三三三
 // (大湊)二八一
 ジョウバンセン(常磐線)九四
 // タンデン(常磐炭田)九四
 ショウブタハマ
 (菖蒲田濱)海水浴場二二八
 一か四 二か四
 一〇た四 二や七
 ショウリンメイヒ(松林銘碑)三七八
 シラカワイシ(白河石)六〇
 シラカワウマイチ(白河馬市)六〇
 シラカワ(白河)驛六〇
 // ジョウシ(白河城址)六〇
 // セキシ(白河關址)六三
 シラサワ(白澤)驛六三
 シラタカヤマ(白鷹山)二二一
 シラフタカユ(白布高湯)温泉二九九
 シリウチ(尻内)驛二六六
 一か二

ス

ズイガンジ(瑞巖寺)二二九
 スイバラ(水原)驛三六一
 ズイホウデン(瑞鳳殿)二〇九
 スエノマツヤマシ(末松山址)二一八
 スカガワ(須賀川)驛、町 宍
 // 牡丹園 宍
 スガヤ(菅谷)のあきになれ 三三三
 // フドウ(菅谷不動) 三三三
 スガユ(酸ヶ湯)温泉 一八九
 スカワ(酢川、須川)温泉 一三〇
 スギオジンジャ(楯尾神社)二七一
 スズキイマエモンハカ
 (鈴木今右衛門墓)二七三
 スズコ(鈴子)驛 一か三
 スリサワ(摺澤)驛 一か四 三か二

シロイシ(白石)驛、町 八六
 // ジョウシ(白石城址) 八六
 シロサキ(白崎)驛 一た五
 シロミズ(白水)阿彌陀堂 九八
 ジングウジ(神宮寺)驛 一三三
 シンクルマ(新車)温泉 一三六
 シンゴシキ(新五色)温泉 一九四
 シンジョウ(新庄)驛、町 二二七
 ジンダイ(神代)驛 三三七
 シンチ(新地)驛、貝塚 一〇五
 シントミヤマ(新富山) 一三〇
 ジンバ(陣場)驛 二九七
 シンフジワラ(新藤原)驛 一た六
 シンマイコ(新舞子) 一〇〇
 ジンマチ(神町)驛 一さ四
 シンラジンジャ(新羅神社) 一六九
 シンユ(新湯)温泉 一三七
 シンユノサワ(新湯ノ澤)温泉 二九八
 三か二

セ

セイカンレンラクセン
 (青函連絡船) 一八五
 セキサ(關山)(關山満願寺) 三三
 セキデンイセキヒ(籍田遺蹟碑)二九九
 セキト(關都)驛 一さ五 三か六
 セキネ(關根)驛 一さ五 三た五
 // ドウクツ(洞窟)
 (高田附近石器時代遺蹟)二三
 セツチユウコウゲンソウナンキネンヒ
 (雪中行車遭難記念碑)二八七
 セキカイセキサイクツジヨウ
 (石灰石採掘場)(釜石附近)二五〇
 セナミ(瀬波)温泉 二六五
 // の噴騰泉 二六五
 セノウエ(瀬ノ上)驛 一さ五 一八あ二
 セミ(瀬見)驛、温泉 二二八
 一さ四 三た二

セミネ(瀬峯)驛……………一三六……………一か4 三か2
 センカイヒ(仙海碑)……………七七
 センシユウコウエン(千秋公園)三六……………三三か4
 センシヨウジ(専稱寺)……………九六
 センダイ(仙臺)驛、市……………一〇六……………一さ4 九三さ4
 // ジョウウシ(仙臺城址)……………一〇〇
 // ヒラ(仙臺平)……………一〇七
 // のカルスト……………七三……………三三か7
 センニントウゲ(仙人峠)驛……………一か3 三か8
 センバズツミ
 (仙波堤)竪穴住居址……………一六
 ゼンポウジ(善寶寺)……………二七二……………一た4 二た4
 センボクチョウウ(仙北町)驛……………一か3
 センマヤ(千厩)驛……………一か4 三か2
 ゼンリョウジ(全良寺)
 戊辰戦役戦死者墓……………三三七……………三ら3

ソ

タイノ(岱野)驛……………一さ2
 タイラ(平)驛、町……………九六、九七……………一さ5 三三か7
 // ジョウウシ(平城址)……………九七……………二さ5
 タイラダテ(平館)驛……………一か3 三三か6
 タカイシ(高石)驛……………一か4
 タカシミズ(高清水)驛……………一か2
 タガジヨウシ(多賀城址)……………一四……………二か4 一〇な3
 // ハイジシ(多賀城廢寺址)二五
 タカセ(高瀬)温泉……………二六……………三三か4
 タカタ(高田)町、石器時代遺蹟二三
 タカタ(高田)鑛山……………一三……………一か4 三三か2
 タカダテシ
 (高館址)衣河館址(石越)二九
 タカタマ(高玉)温泉、鑛山……………三九……………三か5
 タカタマツバラ(高田松原)……………一三……………二か3
 タカテルジンジャ(高照神社)……………三〇二……………二さ2 三は6
 タカハタ(高島)驛……………一さ5 三た4
 タカノス(鷹巢)驛……………二九……………一さ2 三三か4
 // 温泉……………二六四……………三三か6

ソデサキ(袖崎)驛……………一さ4
 ソウエイジ(宗英寺)(若松)……………二四……………二四た6
 ソウシヨウコウエン(雙松公園)二二
 ソウジリエウハカ(僧慈隆墓)……………一〇四
 ソウチケンボウシンクヨウモ
 (僧智瑄亡親供養碑)……………八六
 ソウマジンジャ(相馬神社)……………一〇四……………二さ5
 // シビヨウ(相馬氏廟)洞雲寺)一〇一
 ソウリンジャクシドウ
 (雙林寺薬師堂)瀬峯)二八……………二か4
 タ
 ダイエンジ(大圓寺)(大鰐)……………二九九……………二さ2
 ダイ(臺)温泉……………一四七……………三あ3
 ダイジジ(大慈寺)……………一五八……………一三か7
 ダイシヤカ(大釋迦)驛……………一さ2
 タイハクサン(太白山)……………九三
 ダイネンジサン(大年寺山)……………一〇……………一〇や5

タカノエ(鷹の湯)温泉……………三三……………三か4
 タカマツイケ(高松池)……………一五……………一三
 タカラガミネ(寶ヶ峰)石器時代遺蹟三三
 ダキカエリ(抱返り)……………三三七……………二さ3 二た7
 タキザワ(瀧澤)驛……………一六一……………一か3 一四あ7
 タキザクラ(瀧櫻)……………七三……………二さ5
 タキネフドウドウ
 (瀧根不動洞)(仙臺平)……………七三……………三三か6
 タケ(嶽)温泉……………七六……………三か5
 // ……三〇五……………三か2
 タケコマジンジャ(竹駒神社)……………九二……………二さ4
 タケノコザワ(筍澤)温泉……………二七五……………三か4 三た2
 タコマチ(駄子町)驛……………一さ5
 タコヤクシ(田子薬師)……………三三……………二た5
 タザワコ(田澤湖)……………三三……………二さ3 二一
 タヅリ(田尻)驛……………一か4 三か3
 タテアイ(館合)驛……………一さ3
 タテオカ(楯岡)驛……………一さ5 一八あ2
 ……一さ4 三た3

ダテトモムネハカ(伊達朝宗墓) 八五
// タネムネハカ(伊達種宗墓) 七六
ダテケルイダイノハカ

(伊達家壘代之墓) 一〇九

タツタ(龍田驛) 九は8
タツコクノイワヤ(達谷窟) 一四一

タナカ(田中)温泉 一三五
// イナリクヨウセ

(田中稻荷供養碑) 七五

タナクラジヨウシ(柵倉城址) 五五

// (柵倉町) 五五
タナブ(田名部)驛、町 一八一

タネイチ(種市)驛 一八二
タネサシ(種差)驛 一八二

タマサキボタンエン(玉崎牡丹園) 九三

タマヤマ(玉山)鑛泉 一〇〇

タヤ(田家)の煮壺 一六〇

チヨウシヨウジ(長勝寺) (弘前) 三〇一

チヨウリエウジ (長隆寺) (長友地藏堂) 一〇〇

チンジュフハチマンガウ (鎮守府八幡宮) 一四三

ツガルシンジョウ (津輕新城驛、スキー場) 三〇八

// オノエ(津輕尾上)驛 三〇〇

// ヌリ(津輕塗) 三〇〇

ツガワ(津川)驛、町 二六九

ツキオカ(月岡)温泉 二六三

ツキダテ(築館)驛 二六三

ツキノキ(槻木)驛 九一

ツクシモリ(築紫森) 二三三

ツズラ(綴)驛 一三五

チカガワ(近川)驛 一か1 三か2

チトセコウエン(千歳公園) 二〇七

// ヤマ(千歳山) 二〇七

チビキ(千曳)驛 一か2

チユウソンジ(中尊寺) 一三四

// 金色堂 一三四

// 經藏 一三六

// 辨才天堂 一三七

// 鐘樓 一三八

// 閼伽堂 一三八

// 藥師堂 一三八

// 本坊 一三八

チヨウカイサン(鳥海山) 二八一

チヨウカイガツサン (鳥海月山) 兩所宮(山形) 三〇七

チヨウゴウジ(調合寺) 二五五

ツズラ(綴)附近炭坑 九六

ツタ(蔦)温泉 一七三

ツチザキ(土崎)驛 二八六

// ミナトマチ(土崎港町) 三八六

ツチハタ(土畑)鑛山 一四一

ツチユ(土湯)温泉 七六

ツツコワケジンジャ (都々古別神社) 六六

チ

チカガワ(近川)驛 一か1 三か2

チトセコウエン(千歳公園) 二〇七

// ヤマ(千歳山) 二〇七

チビキ(千曳)驛 一か2

チユウソンジ(中尊寺) 一三四

// 金色堂 一三四

// 經藏 一三六

// 辨才天堂 一三七

// 鐘樓 一三八

// 閼伽堂 一三八

// 藥師堂 一三八

// 本坊 一三八

チヨウカイサン(鳥海山) 二八一

チヨウカイガツサン (鳥海月山) 兩所宮(山形) 三〇七

チヨウゴウジ(調合寺) 二五五

ツズラ(綴)附近炭坑 九六

ツタ(蔦)温泉 一七三

ツチザキ(土崎)驛 二八六

// ミナトマチ(土崎港町) 三八六

ツチハタ(土畑)鑛山 一四一

ツチユ(土湯)温泉 七六

ツツコワケジンジャ (都々古別神社) 六六

// 六六

ツツジカオカコウエン (榴ヶ岡公園) 一〇九

ツナギ(繫)温泉 一五九

ツナドリ(綱取)鑛山 一四三

ツバキ(椿)驛 一八四

// ヤマ(椿山) 一八四

// 二八九

ツヤ(津谷)驛 一か4 三か2

ツリシハマ(釣師濱)海水浴場 一〇五

ツルオカ(鶴岡)驛、市 一七二

一七三

一七四

一七五

一七六

一七七

一七八

一七九

一八〇

一八一

一八二

一八三

一八四

一八五

ツルオカジヨウシ(鶴岡城址)……………二た4
 // コウエン(鶴岡公園)……………二五は4
 ツルトマリ(泊泊驛)……………一さ2
 ツルノユ(鶴ノ湯)……………三三二……………三か3二あ1

テ

テガタヤマ(手形山)スキー場……………三三六
 デユ(出湯)温泉……………二六一……………三さ5
 デワサンザン(出羽三山)……………二二三……………二六
 // ジンジャ(出羽神社)……………二七四……………二た4二六た2
 // 五重塔二七四
 テンダイジ(天臺寺)(御山観音)二六六……………二か2
 テンドウ(天童)驛、町、温泉……………二二五……………一さ4三か4三た3
 テントクジ(天徳寺)……………二三七
 テンノウジ(天王寺)温泉……………八三……………三か5
 // 供養碑……………八二
 テンノウシンデン(天王新田)驛……………一た5

ト

ドウウンジ(洞雲寺)(山ノ寺)……………二二四……………二さ4二こま2
 // (相馬氏廟)一〇一
 トウカツタ(遠刈田)温泉……………八八……………一さ4三か4
 トウゲ(峠)驛……………一九五……………一さ5
 ドウサンジンジャ
 (堂山神社)(王子神社)七四
 トウシヨウグウ(東照宮)(仙臺)一〇九……………九さ1一〇ま4
 ドウソジンジャ
 (道祖神社)(佐倍之神)九三……………二さ4
 // タチキカンノン
 トウデラ(塔寺)石器時代遺蹟……………二五三
 // (塔寺)立木観音……………二五三……………二た5
 トウドウサン(東堂山)観音……………七四……………二さ5三さ6
 トウノ(遠野)驛…………………………一か3三か8
 トキワ(常葉)町……………七三……………一さ5三さ6
 トキニワ(時庭)驛…………………………一さ4

トクサワ(徳澤)驛…………………………一た5
 トコシナイ(十腰内)石器時代遺蹟三〇七……………二さ2
 トコマイ(床舞)石器時代遺蹟……………三〇七……………二さ2
 トナミ(斗南)(田名部)……………一八一……………二か1
 トノクチ(戸ノ口)…………………………二四四
 トビシマ(飛鳥)…………………………二七九
 トマイムラ(斗米村)竪穴住居址二六六……………二か3
 トミオカムラ(富岡村)供養碑……………七一
 トミザワ(富澤)驛……………二三八……………一さ4三さ2
 // 磨崖佛……………九一
 トミヤマ(富山)…………………………一三三……………一〇ま1二は1
 トミネ(富根)驛…………………………一さ2
 トヤガサキジョウシ
 (鳥谷ヶ崎城址)(花巻城址)二四六……………二か3
 トヨカワユデン(豊川油田)……………二九一
 トヨマ(登米)驛…………………………一か4三か3
 トヨミ(豊實)驛…………………………一た5
 トリアゲザカ(取上坂)スキー場二〇一
 トリノミサクシ(鳥海柵址)……………二四四……………二か3

ナ

トリコエカンノン(鳥越観音)……………一六七
 トワダコ(十和田湖)……………一七四……………二か2二五三た4
 // 奥入瀬口……………一七二
 // 小坂口……………二九七……………一さ2
 // 八甲田口……………一八七……………一さ2
 // 毛馬内口……………二九四
 // 黒石口……………三〇五
 トワダシンワ(十和田神話)……………一七五
 トワダテツドウ(十和田鐵道)……………一七一
 ナオエカネツグノハカ
 (直江兼續之墓)……………一九は7
 ナガイ(長井)線、驛…………………………一さ4
 ナカガワ(中川)驛…………………………一さ4
 ナガキサワ(長木澤)(國有林)……………二九六……………一さ2
 ナガサワ(長澤)驛…………………………一さ4
 ナカサワハマカイヅカ

(中澤濱貝塚)(高田町)二三……………二か4
 ナカジヨウ(中條驛)……………一た4
 ナガヅカ(長塚驛)……………一さ5
 ナガトモジゾウドウ(長友地藏堂)一〇〇……………二さ5
 ナカニイダ(中新田驛)……………一さ4
 ナガヌマ(長沼町)……………充……………一さ5三た7
 ナカノサワ(中ノ澤)……………温泉、スキー場……………三か5三あ4
 ナカノヤマコウエン(中野山公園)三〇五……………二さ2
 ナガイセン(長井線)……………二〇二
 ナガハシリカザアナ(長走風穴)三九七……………二さ2三た4
 ナガハマ(長濱)……………二四……………三
 ナガマチ(長町驛)……………一さ4三さ4
 ナガマツ(永松)鑛山……………二二
 ナカムラ(中村驛、町)……………一〇四……………一さ5三さ5
 // ジョウシ(中村城址)……………一〇四……………二さ5
 // ジンジヤ(中村神社)……………一〇四
 ナカヤマ(中山)温泉……………二七……………三か4三さ4
 // タイラ(中山平)驛……………一さ4三さ2

ナンシヨウザンジンジャ

(南昌山神社)……………一五……………二か3
 ナンプケハカシヨ(南部家墓所)一五……………一三さ2

二

ニイジユク(二井宿驛)……………一さ5
 ニイダテジンジャ(新館神社)……………一七九
 ニイツ(新津驛、町)……………三九……………一た5三は5
 // ユデン(新津油田)……………二六〇
 ニイツル(新鶴驛)……………一た5
 ニイヤマ(新山)温泉……………二七四……………三さ4三さ6
 ニオウジダケ(二王寺岳)……………二六二……………三な5
 ニガタケ(苦竹)の公孫樹……………八
 ニゴリガワ(濁川)噴泉塔……………二九六……………一さ2二さ2
 ニシアズマヤマ(西吾妻山)……………一九九……………三た5
 ニシオウツカ(西大塚驛)……………一さ4
 ニシナマリ(西鈴)温泉……………一四八……………一さ3三か3
 ニシヌマ(西沼)竪穴居住址……………三三五

ナカヤマジユク(中山宿驛)……………一さ5
 ナコソ(勿來驛)……………九四……………一さ6
 // 附近炭坑……………九六
 // セキシ(勿來關址)……………九四……………二さ6
 ナツイ(夏井驛)……………一さ5
 ナツセ(夏瀬)温泉……………三六……………三か3二さ6
 ナナツイケ(七ツ池)……………二九二……………二さ2
 ナナツタキ(七ツ瀧)……………二六三……………二た5
 ナマリ(鉛)温泉……………一四八……………三か3
 ナミウチ(浪打驛)……………一〇一……………一さ2
 // トウゲ(浪打峠)……………一〇一……………二か2三さ5
 ナメカワ(滑川)温泉……………一五……………三か5一八は3
 ナミエ(浪江驛)……………一〇一……………一か5
 ナミオカ(浪岡驛)……………一〇一……………一さ2
 ナルゴ(鳴子驛、温泉、スキー場)二六……………一さ4二さ4三か4
 ナルサワ(鳴澤驛)……………一〇一……………一さ2
 ナルシマコウエン(成島公園)……………二〇〇
 ナンコ(南湖驛)……………一〇一……………一さ5四ま2
 // コウエン(南湖公園)……………六三二さ5四は2三た7

ニシネジンジャ(西根神社)……………八二

ニシノサワ(西ノ澤)温泉……………二四……………三か5
 ニシメ(西目驛)……………一〇一……………一た3
 ニシモナイ(西馬音内)驛……………一〇一……………一さ3三た1
 ニシヤマジヨウシ

(西山城址)赤館址(八五)

ニシヨネザワ(西米澤驛)……………一〇一……………一さ5
 ニシワカマツ(西若松驛)……………一〇一……………一た5一九ら3二四ら8
 ニチジユウシヨウニンハカ

(日什上人墓)……………二五〇……………二四さ2

ニツシンカンシ(日新館址)……………二四九……………二四ま6
 ニツタ(新田驛)……………一〇一……………一か4
 ニツタチキ(日立木)驛……………一〇一……………一さ5
 ニツチユウ(日中)温泉……………二五五……………三さ5
 ニノミヤソントクボヒ

(二宮尊徳墓碑)……………一〇四

ニホンマツ(二本松)驛、町……………七五……………一さ5三た6
 // ジョウシ(二本松城址)……………七五……………二さ5
 // ジンジヤ(神社)……………七五

ニヨホウジ(如寶寺)……………七〇……………五な4
 ニヨライジ(如來寺)……………九八
 ニワサカ(庭坂)驛……………一九二……………一さ5一八さ3
 ニワナガシゲビヨウ

(丹羽長重廟)……………六二

又

ヌカノメ(糠ノ目)驛……………二〇一……………一さ5
 ヌカベジンジヤ(糠部神社)……………一六六
 ヌマクナイ(沼宮内)驛……………一四四……………一か3三さ6
 ヌマサキ(沼崎)驛……………一七九……………一か2
 ヌマサワヌマ(沼澤沼)……………二五五
 ヌマシリ(沼尻)
 驛、温泉、スキー場……………二四〇……………一さ5 三か5
 硫黄山……………二四一……………三た6
 ヌマダテ(沼館)驛…………………………一さ3三な8
 ヌルユ(微温湯)……………一九一……………三か5一八な4
 〃 (温湯)(青森縣)……………三〇五……………三か2

ノマオイマツリ(野馬追祭)……………一〇三

ハ

ハクチヨウゲンセイチ
 (白鳥群棲地)(雷電宮附近)……………二八四……………二さ2
 ハグロサン(羽黒山)……………二二三……………二六た2三な2
 ハクホウテツドウ(白棚鐵道)……………六五
 ハシカミ(階上)驛…………………………一か2
 ハンバ(橋場)線、驛……………一五九……………一さ3
 バシヨウノツジ(芭蕉の辻)……………二二三……………九な6
 ハシモトノウエン(橋本農園)……………二七〇
 ハセクラロクエモンハカ
 (支倉六右衛門墓)……………二二一……………九は1
 ハタオリ(機織)驛…………………………一さ2三な5
 ハダチ(羽立)驛…………………………一た3
 ハチノヘ(八戸)線、驛、町……………一六、一六九……………一か2
 〃 コウエン(八戸公園)……………一六九
 ハチマンジンジヤ

ヌルユ(温湯)(栗駒山麓)……………二七……………三か4

ネ

ネズガセキ(鼠ヶ關)……………二六九
 ネズガセキ(鼠ヶ關)驛……………二六九……………一た4
 ネノクチ(子ノ口)……………一七五……………一さ2一五さ4
 ネブタ祭……………一八六

ノ

ノザワ(野澤)驛、町……………二五七……………一た5三な6
 ノジ(野地)温泉……………二四一……………三か5
 ノシロ(能代)線、驛、港町……………二九一、二九二……………一さ2
 ノゾキ(及位)驛、町…………………………一さ3
 ノダ(野田)の玉川の碑……………二一八……………一わ6
 ノナイ(野内)驛…………………………一さ2三た3
 ノノダケカンノン(笹岳觀音)……………二三……………三か3
 ノヘジ(野邊地)驛……………一八〇……………一か2三さ3

(八幡神社)(中村町)……………一〇四

(山形市)

の樵……………二〇七

(水澤町)……………二七〇……………二た4

ハチモリ(八森)驛…………………………一さ2三な5
 ハチヨウジ(八葉寺)……………二四六……………二た5
 ハチロウガタ(八郎湯)……………二八八……………三な5
 ハツコウダサン
 (八甲田山)スキー場……………一八九……………二さ2一七三た3
 ハツトセ踊……………一〇八
 ハナイズミ(花泉)驛…………………………一か4
 ハナオカ(花岡)驛、鑛山……………二九七……………一さ2
 ハナマキ(花巻)
 驛、温泉、スキー場……………一四六、一四七……………一か3 三あ3三さ7
 〃 ジョウシ(花巻城址)……………一四六……………一さ3
 ハナワセン(花輪線)……………一六四……………一さ3
 ハニツジンジヤ(土津神社)……………二四三
 ハネサワ(羽根澤)温泉……………三三一……………三か4
 ハマヨシダ(濱吉田)驛…………………………一か5

ハヤクチ(早口)驛……………一さ2
 ハヤシシヘイ(林子平)墓……………九ら2
 ハヤチネサン(早池峯山)……………一五一 三か7
 ハヤマコウエン(麓山公園)……………七〇 五は4 三さ6
 ハラガマ(原釜)海水浴場……………一〇五 一か5 二か5
 ハラノマチ(原ノ町)驛……………一〇三 一さ5 三さ6
 ハルヤマ(晴山)驛……………一か3
 バンエツサイセン(磐越西線)……………二二九 一さ5
 トウセン(磐越東線)……………九九 一さ5
 ハンザワカジユエン
 (半澤果樹園)……………八六
 バンダイ(磐梯)温泉……………二四 三か5 三た3 三た6
 ザン(磐梯山)……………二四三 三三 三た6
 ハンダ(半田)鑛山……………八五

ヒ

ヒエジンジャ(日枝神社)(鶴岡市)……………二五た3
 (酒田市)……………二七た3

ヒヨリヤマコウエン(日和山公園)……………二七な3
 ヒライズミ(平泉)驛、町……………二四 一か4 二 三か2
 寶物館……………一三七 一三さ6
 ダテシ(平泉館址)……………一三九
 ヒラキダ(平木田)驛……………一た4 三は4
 ヒラクラ(平倉)驛……………一か3
 ヒラタアツタネハカ(平田篤胤墓)……………三あ3
 ヒロサキ(弘前)驛、市……………二九 一さ2 三〇 三な3
 ジョウシ(弘前城址)……………三〇〇
 ヒロタ(廣田)驛……………二四六 一た5
 ヒロノ(廣野)驛……………一さ5
 ヒワダ(日和田)驛……………一さ5 三た6

フ

フカウラ(深浦)港……………三〇八 一た2 三は4
 フクオカジヨウシ(福岡城址)……………二六六 二か2 三さ5
 フクシマ(福島)驛、市……………七六、七九 一さ5 六 三た5
 フクラ(吹浦)驛……………二八〇 一た3

ヒカゲ(日景)温泉……………二九七 三か2
 ヒガシネ(東根)驛、温泉……………二六 一さ4 三か4 三た3
 の大櫓……………二六
 ヒガシヤマ(東山)温泉……………二五 三さ5 二四あ8
 ヒガシヤマ(東山)
 公園スキー場(新庄)……………二七
 ヒサカ(日坂)鑛山……………二〇二
 ヒサノハマ(久ノ濱)驛、町……………一〇一 一か5 三か7
 ヒジオリ(肘折)温泉……………二七 三か4 三あ5
 ヒズメ(日詰)驛、町……………一五 一か3 三さ7
 ヒデヤ(日出谷)驛……………一た5 三な5
 ヒデシマ(日出島)潮吹穴……………一六〇 二あ3
 ヒトイチ(一日市)驛……………一さ3
 ヒバリノ(雲雀野)……………一〇三 二さ5
 ヒメガミヤマ(姫神山)……………一六 三な7
 ビヤツコタイハカ(白虎隊墓)……………二五〇 二四か2
 ヒヨシハチマンジンジャ
 (日吉八幡神社)……………二三七 三ら3
 ヒヨリヤマ(日和山)……………一三 二た4

フサクツ(布佐窟)……………一三
 フジサキ(藤崎)驛……………一さ2 三あ4
 フジシマ(藤島)驛……………一た4 三は1 三な2
 フジタ(藤田)驛……………八六 一さ5 三さ5
 フジネ(藤根)驛……………一か3
 フタダ(二田)驛……………一た3
 フタツイ(二ツ井)驛……………一さ2
 ブドウ(葡萄)鑛山……………二六五 三な3
 フナガタ(船形)驛……………一さ4 三た2
 フナカワ(船川)線、驛、町、湊……………二八七、二八九 一た3 三は6
 フナコシ(船越)驛……………一た3 三は6
 フナコシアミダドウ(船越阿彌陀堂)……………九一
 フネヒキ(船引)驛……………一さ5
 フヤ(府屋)驛……………一た4
 フルグチ(古口)驛……………二九 一さ4 二さ4 三あ2
 フルマギ(古間木)驛……………一七一 一か2 三さ3
 フロウザン(不老山)……………一三二
 フロクラ(不老倉)鑛山……………二九四 三た5

ヘイアナ(閉伊穴)……………一七〇
 ベイハンセン(米坂線)……………二〇〇
 ヘブスヌマ(平伏沼)……………七四
 ベンザイテンドウ……………二五五
 (辨才天堂)中尊寺……………二二七
 ペンテンジマ(辨天島)……………二六九
 ベンテンヤマコウエン……………二九四
 (辨天山公園)……………六八〇

ホ

ホウオンジ(報恩寺)……………三〇二
 ホウサカ(寶坂)(蛋白石産地)……………三二七
 ホウシヤクジ(寶積寺)……………六八六
 ホウモツカン(寶物館)(平泉)……………二二七
 ホウリヨウ(法量)の公孫樹……………一七二

マ

ホクトウセキ(北投石)……………三三一
 ボシンエキセンシヤハカ(戊辰役戦死者墓)
 (若松阿彌陀寺)……………二五〇
 (若松融通寺)……………二五〇
 (白河)……………三三
 ホコツキジンジャ(榊衝神社)……………二五五
 ホトケガウラ(佛ヶ浦)……………一八三
 ホバラ(保原驛)……………一三五
 ホバタ(母畑)温泉……………六四
 ホンスジ(本栖寺)石塔婆……………七三
 ホンジュウジ(本住寺)……………二七三
 ホンジョウマチ(本莊町)……………二八四

マカド(馬門)温泉……………一八〇
 マキボリジンジャ(巻堀神社)……………一六四
 マキヤマカンノン……………二二二

(牧山觀音)牡鹿半島

マゴロクユ(孫六湯)……………三三一
 マサオカノハカ(政岡墓)……………一〇九
 マジマ(間島)驛……………一四四
 マスカタ(升形)驛……………一三四
 マスザワ(鱒澤)驛……………一三三
 マスダ(増田)驛、町……………一三四
 マキタ(真瀧)驛……………一三四
 マツオ(松尾)鑛山……………一六四
 マツガオカコウエン……………一九七

(松ヶ岡公園)平

マツガサキジンジャ……………一九八
 (松ヶ岬神社)……………一九八
 マツカワ(松川)驛……………七七
 // イソ(松川磯)……………九四
 // ウラ(松川浦)……………一〇五

マツカワゲンリユウノタキ……………三二二

(松川源流の瀧)

マツシマ(松島)……………一八八
 // 驛……………一八八
 マツダイラケハカ(松平家墓)……………三三〇
 マツヤママチ(松山町)驛……………一四四
 マムロガワ(眞室川)驛……………一三四
 マンガンジ(満願寺)……………三三三

ミ

ミクラハナ(三倉鼻)八郎湯海岸……………二五三
 ミサワハツコノハカ……………一九九
 (三澤初子之墓)……………一九九
 ミズグチヒガシヤマハイジシ……………四四
 (水口東山廢寺址)……………四四
 ミズコシ(水越)驛……………一四一
 ミズサワ(水澤)驛、町……………一四一
 // 緯度觀測所……………一四三

ミズサワ鑛山……………一四四
 ミズナシ(水無驛)……………三二二
 ミチカワ(道川)驛、海水浴場……………二八五 一さ3 二さ3
 ユデン(道川油田)……………二八六
 ミナト(湊驛)……………一か2 三か4
 ミナミヨネザワ(南米澤)驛……………一さ5 一な8
 ミナモトトモサダクヨウヒ
 (源朝定供養碑)……………八三
 ミハル(三春)驛、町……………七三 一さ5 三さ6
 ジョウシ(三春城址)……………七三 二さ5
 の瀧櫻……………七三
 タムラシハカ
 (三春田村氏墓)……………七三
 ミヤウチマチ(宮内町)驛……………一さ4 三た4
 ミヤギノハラ(宮城野原)……………一〇九 一〇ま5
 ミヤギジョウシ(三八城城址)……………一六九 二か2
 ミヤコ(宮古)町……………一六〇 一か3 三か7
 ミヤトジマ(宮戸島)……………一三一 二か4 一〇か2
 貝塚……………一三一 二た4

ム

ムツコクブンジシ
 (陸奥國分寺址)……………二さ4
 ツルダ(陸奥鶴田)驛……………一さ2
 ミナト(陸奥湊)驛……………一か2
 モリタ(陸奥森田)驛……………一さ2
 ヨコハマ(陸奥横濱)驛……………一か1
 ムノウジ(無能寺)……………八五
 ムラカミ(村上)驛、町……………二六五 一た4 三は4
 ムラスギ(村杉)鑛泉……………二六一 三さ5
 ムラタ(村田)驛……………一さ4 三さ4
 ムラマツ(村松)驛、町……………二五九 一た5
 ムリヨウコウインシ
 (無量光院址)平泉……………一三九 二さ5

モ

ヤ

モウキ(舞木)驛、石塔婆……………七三 一さ5
 モウツジシ(毛越寺址)……………一四〇 二か4 二た6
 モガミ(最上)温泉……………二一九 三か4
 タカユ(最上高湯)
 温泉、スキー場……………二〇七、二〇八 三か4
 ヨシアキハカ(最上義光墓)三〇六
 モジズリイシ(文字摺石)……………八〇 二さ5
 モトグルマ(元車)温泉……………一三六 三か4
 モトタテ(本楯)驛……………一た4
 モトノマツ(本ノ松)鑛山……………一四四
 モトミヤ(本宮)驛……………七四 一さ5 三た6
 モトムラセツカイドウ
 (元村石灰洞)……………一七一 二か3 三か6
 モミジヤマコウエン
 (紅葉山公園)……………七九 六さ6
 モリオカ(盛岡)驛、市……………一五五 一か3 一三 三さ6
 ジョウシ(盛岡城址)……………一五七
 モリキヤマ(盛喜山)鑛山、堅穴住居址……………一八〇
 モリタケ(森岳)驛……………一さ2

ヤエシロシヤクナゲジセイチ
 (八重白石南自生地)吾妻山……………二九三 二さ5
 ヤクオウジ(薬王寺)……………一〇〇 二さ5 六さ2
 ヤクキ(八莖)銅山……………一〇〇
 ヤゲン(薬研)温泉……………一八三 三あ1
 ヤサワ(矢澤)驛……………一か3
 ヤジ(谷地)驛……………一さ4 三た3
 ヤスミヤ(休屋)……………一七九 一五な6
 ヤタテ(矢立)温泉……………二九七 三か2
 ヤツハシオリ(八橋織)……………一〇八
 ヤツブサウメ(八房梅)……………二六一
 ヤナイズ(柳津) (虚空藏)……………二五四 二た5
 ヤナガワジョウシ(梁川城址)……………八三 三さ5
 ヤナギタ(柳田)驛……………一さ3
 ヤナモリ(梁森)驛……………一さ5 四た4
 ヤハバ(矢幅)驛……………一五三 一か3

ヤブキ(矢吹)驛……………一さ5 三た7
 ヤマガタ(山形)驛、市……………二五、二〇六 ……一さ4 二〇 三た4
 // ジョウシ(山形城址)……………二〇六 ……二さ4
 // ダイニコウエン
 (山形第二公園)……………二〇六 ……二〇は5
 ヤマガソコウタンジョウチ
 (山鹿素行誕生地)……………二四ま5
 ヤマダセン(山田線)……………一五九 ……一か3
 ヤマデラ(山寺)……………二〇八 ……一さ4 三た4
 // リツシヤクジ
 (山寺立石寺)……………二〇八 ……二さ4
 ヤマノテラ(山ノ寺)(洞雲寺)……………一四 ……二さ4
 ヤマト(山都)驛、町……………一た5 三な5
 ヤワタヤマゲンシリシ
 (八幡山原始林)……………二六 ……二た4
 ユアツミ(湯温海)……………二七〇 ……一た4 二た4 三な3

ユ

ユノマタ(湯ノ又)温泉……………三三 ……三か4
 ユモト(湯本)驛、町、温泉(福島縣九六)……………一さ5 二か5 三さ7
 // 温泉(岩手縣)……………一四六 ……三か3
 // (男鹿半島)……………二九〇 ……一た3 三さ3
 ユラ(由良)……………二七〇 ……一た4 三な2
 ユリアゲ(閉上)驛……………三三 ……三さ4
 ユリユデン(由利油田)……………二八五

ヨ

ヨウケンドウ(養賢堂)……………二二 ……九な4
 ヨウセンジ(陽泉寺)……………八一
 ヨウチガワセンシヤヒ
 (夜討川戦死者碑)……………七一 ……五さ2
 ヨコカワメ(横川目)驛……………一三 ……一さ3
 ヨコヅナタニカゼ(横綱谷風)の碑……………二二 ……一さ3 三た8
 ヨコテ(横手)驛、町……………三四 ……一さ3 三た8
 ヨコボリ(横堀)驛……………三三 ……三か5
 ヨコムキ(横向)温泉……………二四 ……三か5

ユウゲツザンコウエン(友月山公園)……………六一
 ユカワ(湯川)温泉……………一四 ……三か3
 ユザ(遊佐)湯、町……………一三 ……一た3 二八や6
 ユザワ(湯澤)驛、町……………三三 ……一さ3 三な8
 // 温泉……………二六 ……三さ4
 ユゼ(湯瀬)温泉……………二五 ……三か2
 ユダガワ(湯田川)温泉……………二四 ……三さ4 三な2
 ユドノサン(湯殿山)……………二二 二た4 二六た7 三な3
 // ジンジャ(湯殿山神社)……………二二 二た4 二六た7
 ユトリヌマ(魚取沼)の鐵魚……………二六 ……二さ4
 ユノ(湯野)温泉……………八一 ……三か5 三さ5
 ユノクラ(湯ノ倉)温泉……………二七 ……三か4
 ユサノワ(湯ノ澤)温泉……………二九 ……三か2
 // ……三三 ……三か3
 ユノタ(湯ノ田)鑛泉……………二八〇 ……三さ3 二八わ3
 ユノタイ(湯ノ岱)温泉……………三三 ……三か3
 ユノハマ(湯濱)温泉……………二七 ……三か4
 // (湯野濱)温泉……………二七一 二た4 三さ4 三な2
 ユノハラ(湯ノ原)鑛泉……………三三 ……三か3

ヨコヤマ(横山)石器時代遺蹟(福岡)……………二六
 ヨシオカ(吉岡)驛……………一三 ……一さ4 三さ3
 ヨシノコウギヨウシヨ(吉乃鑛業所)……………三三
 ヨツクラ(四ツ倉)驛、町……………一〇〇 ……一か5 三か7
 ヨツゴヤ(四ツ小屋)驛……………一三 ……一さ3
 ヨノモリ(夜ノ森)驛……………一三 ……一さ5
 ヨネクラ(米倉)驛……………一三 ……一た5
 ヨネザワ(米澤)驛、市……………一六 ……一さ5 一九 三た5
 // ジョウシ(米澤城址)……………一九 ……二さ5

ラ

ランバイザンコウエン(蘭梅山公園)……………二九
 ライデングウ(雷電宮)白鳥群棲地……………二四 ……二さ2 三さ3
 // ……三三 ……一さ4
 リクウサイセン(陸羽西線)……………三九 ……一さ4
 // トウセン(陸羽東線)……………二八 ……一さ4

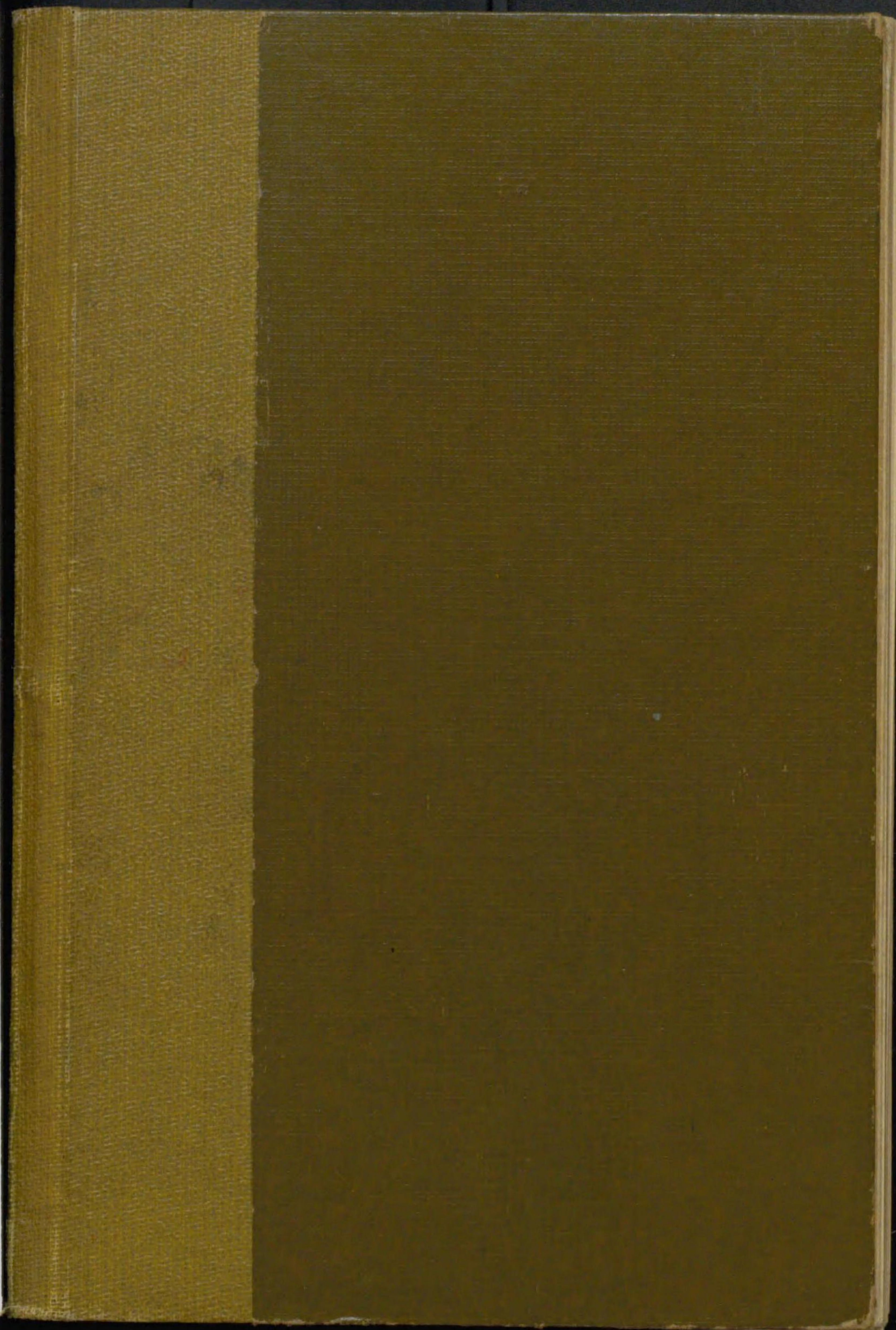
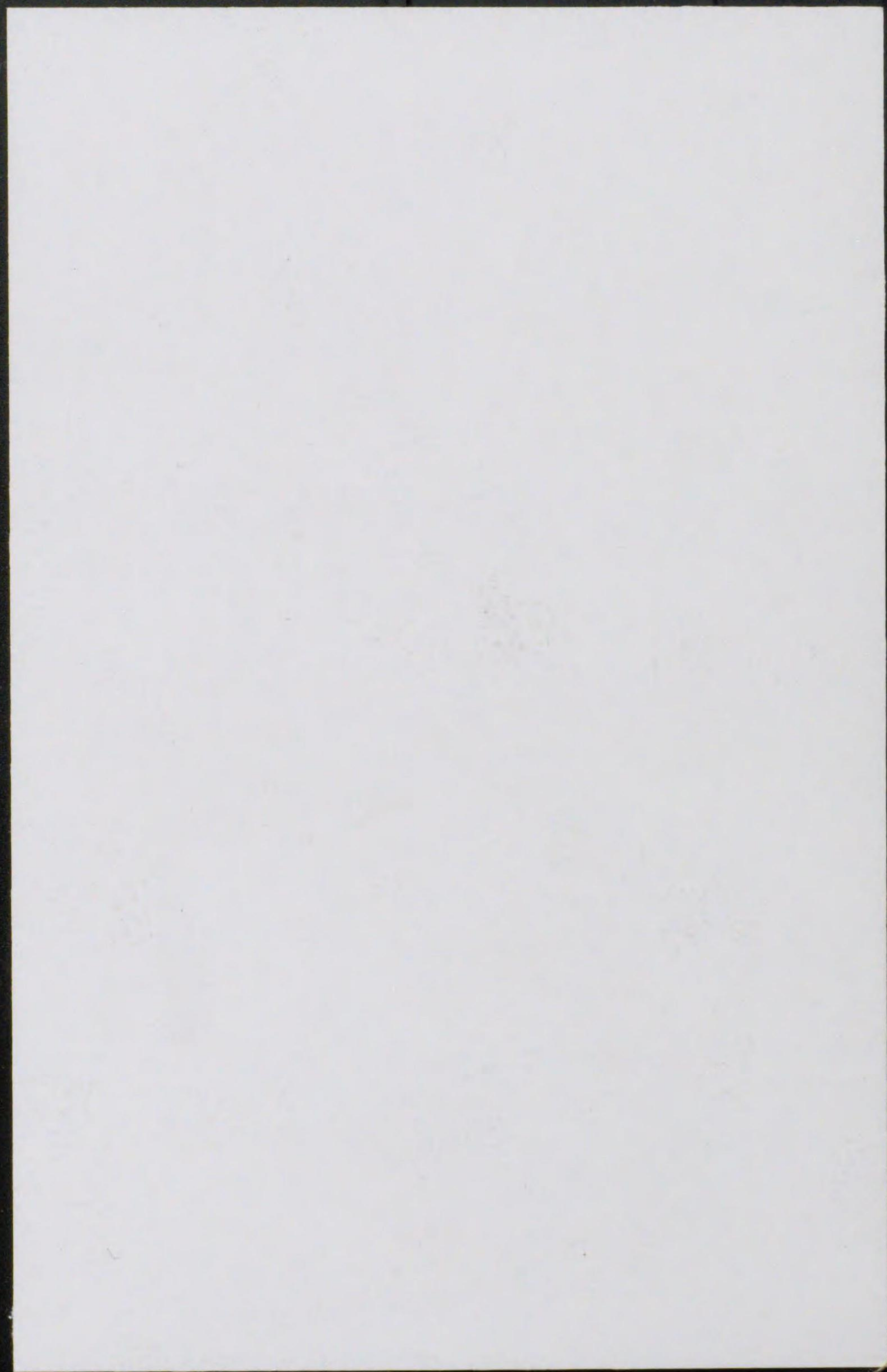
外 330

稱 了

~~569 291.09~~
~~156 TE86~~

569

156

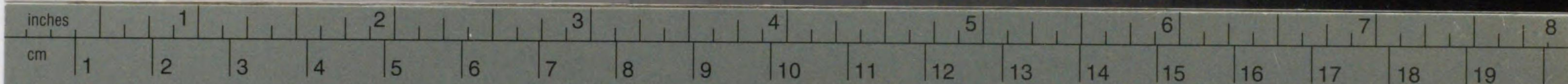


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

